

地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域がん診療連携拠点病院
専門医療施設(がん/成育/骨・運動器)
エイズ治療中核拠点病院
第二次救急医療指定病院
臨床研修指定病院

FUKUYAMA MEDICAL CENTER

FMC NEWS

福山医療センターだより

2023 November
Vol.16 No.11



The 77th Annual Meeting of Japanese Society of National Medical Services

第77回 国立病院総合医学会

第77回国立病院総合医学会 in 広島を終えて

院長 稲垣 優



去る10月20日、21両日に渡り、第77回国立病院総合医学会が広島市で開催されました。今回は国立病院機構中国四国グループの担当で、呉医療センターサテライト瀬会長、広島西医療センター新甲副会長の主催で開催されました。当院は中国四国グループの一員であり、私も中国四国グループ支部長を今年4月より拝命しており、グループとして学会の開催に向け、微力ながら協力して参りました。応募演題は2115題に昇り、当院からも32題(昨年は25題)の演題発表ということで、後方より学会を支援し、そのうち、1題はシンポジウムに採択されました。優秀演題としてベストオーラン、ベストポスター賞もそれぞれ1題、3題計4演題受賞し、受賞された皆様の健闘を慰労すると共にお喜び致します。詳細な内容につきましては引き続きの記事をご参照ください。

前回の熊本での学会では新型コロナ感染症の影響で全員交流会は中止となりましたが、今回は満を持しての開催となり、開演にあたり、呉出身の歌手島谷ひとみ様が美声を披露されました。また、優秀論文賞表彰、QC活動全国優秀賞表彰、新型コロナウイルス対応にかかる理事長表彰につき、楠岡理事長よりの授与式がありました。いつもであれば会の終わりには皆三々五々退場され、残られる参加者が少ない状況となりますが、今回は久しぶりの開催でもあり、最後まで皆様ご歓談の様子で、盛会のうちに終了いたしました。特別講演としてスポーツライター二宮清純様のとても興味深い経験談を含めた講演があり、皆、聞き入っておりました。今回は総勢約6000名の参加があり、前回熊本の4000名を超える盛況ぶりで、学会が成功裏に終わったことを心よりお喜び申し上げます。今回参加、発表されました職員の皆様に心より感謝申し上げます。

来年の国立病院総合医学会は近畿グループが担当で、大阪医療センターが主幹として10月に大阪市で開催されます。次回も当院の活動の成果を発表し、国立病院機構の一員として開催を盛り上げて参ります。

第77回国立病院総合医学会 in 広島を終えて

臨床研究部長
梶川 隆

第77回国立病院総合医学会が去る本年10月20-21日の2日間にわたりて開催されました。前日に開催された各部門長の会議は小雨交じりでしたが翌日からの医学会は快晴に恵まれました。今回は私たちの属する中四国グループ内の呉医療センターと広島西医療センターが主催し「未来に向かって—日本の医療を支える国立病院機構」をテーマとして行われました。

シンポジウムでは「医療DXに期待すること」、「医師の働き方改革で医

療現場はどう変わる?」、「感染症・国立病院機構に期待される公的役割」etc、特別講演では広島大学 越智光夫学長の整形的立場から「膝を守る」などなど未来に向かっての今日的テーマが講演されました。特別セミナーではマツダ株式会社 楠岡孝宏高度運転支援技術担当主査より「クルマを通じた生きる歡びへの貢献」でマツダの安全運転へ向けた車作りほかロータリエンジンを他の機械に転用した話など種々のテーマで講演し広島ならではの開催되었습니다。

第77回国立病院総合医学会演者等一覧

ベストポスター賞・ベスト口演賞受賞

種別	所属	氏名	演題名
20日（金）	ポスター	初期研修医 (外科)	仲村 龍斗 急性腹症を呈した成人巨大大網リンパ管瘤の1切除例
	ポスター	外科	榎木 宏介 上腹部違和感を繰り返す胃異所性腫に對して腹腔鏡・内視鏡合同手術にて切除した1例
	ポスター	放射線診断科	長迫 翔太 Radial GRE法を用いた肺動静脈描出のための基礎的検討
	口演	外科	内海 方嗣 高齢者胆道癌患者における術前サルコペニアの意義
	ポスター	薬剤部	中村 孝佑 当院での手術予定患者に対する入院前の薬剤師の関わりと効率化に向けた取り組み
	ポスター	看護部	村田 計人 与薬準備時の残数確認をなくしたことによる効果
	口演	小児科	坂本 朋子 学校教職員によるミダラム口腔用液投与に対する「こども出前講座：教職員によるブロム投与」の有用性についての検討
	口演	臨床検査科	和田 弘輝 当院のがん遺伝子パネル検査の出検状況と取り組み
	口演	後期臨床研修医 (内科)	何本 佑太 急性出血性十二指腸潰瘍をきたした好酸球性胃腸症の一例
	口演	乳腺・内分泌外科	三好 和也 中規模病院のがんゲノム医療連携病院としての初動報告
	口演	リハビリテーション科	小原 一真 早期歩行形態の変更が、人工股関節全置換術患者の自宅退院率や身体機能に及ぼす影響
	口演	看護部	大塚 麻里 思考発語を用いたシャドウイング研修での新人看護師の学び
	ポスター	外科	徳永 尚之 術前診断に苦慮した脾囊胞性腫瘍の1切除
	ポスター	リハビリテーション科	石井 達也 当科整形チーム内の業務改善の取り組み～モニタリングシステムの導入～
	口演	循環器内科	梶川 隆 福山医療センターにおける16年間にわたる褐色細胞腫と傍神経節腫の検討
	口演	外科	櫻井 潤也 虫垂内に日本住血吸虫卵を認めた急性壞疽性虫垂炎の1例
21日（土）	口演	外科	大塚 真哉 画像診断及び病理検査報告書の未確認「0」を達成するまでの当院の取り組み
	ポスター	感染症内科	齊藤 誠司 COVID-19パンデミックがエイズに核被点病院のHIV/AIDS診療に及ぼした影響とパンデミック下におけるエイズ診療の課題
	ポスター	地域医療連携室	木梨 貴博 引きこもりなど多くの課題を抱え、地域で孤立していた豪華エイズ患者へMSWが介入し、支援体制を構築した1例
	ポスター	リハビリテーション科	小原 一真 心理面の支援により障害受容に変化がみられた硬膜内膜外腫瘍摘出術後の一症例
	ポスター	看護部	片山 智之 清拭タオルのディスポーザブル化による効果の一考察
	ポスター	臨床検査科	有江 潤子 ISO15189を活用したPQAサイクルの取り組みと成果
	ポスター	薬剤部	牧 賢利 がん悪液質に対するアナモレリン塩酸塩の有効性に影響する因子の検討
	ポスター	薬剤部	野村 直幸 抗HIV薬の持続性注射剤導入に向けた薬剤師の取組み
	ポスター	薬剤部	辻 和美 薬剤師による「こども出前講座」の活動報告
	口演	ME管理室	本田 悠希 高頻度振動換気(HFO)使用時における△HF振幅圧の比較
	ポスター	看護部	前田 智樹 死にたいと訴え医療者との間わりを抱むようになった下咽頭がん患者への看護実践
	ポスター	看護部	佐々木 伸樹 タスクシフトに貢献した特定行為看護師によるPICC挿入の検討
	ポスター	歯科衛生士室	山脇 真衣 つなぐ！つなぐ!!3 施設医療連携～薬剤関連誤嚥死患者の1症例～
	シンポジウム	リハビリテーション科	片岡 靖雄 シンポジウム35 セーフティネット医療におけるリハビリテーションの未来を考える(第2部)
	ポスター	放射線診断科	林 洋輔 一般撮影の腰椎臥位正面における技師間での撮影条件の評価
	ポスター	看護部	小林 理秀 長時間着装が必要な在宅高流量鼻カニュラ療法導入の一例

20日（金）	座長	消化器内科	豊川 達也	一般演題ポスター33「上部消化管1-2」	
		外科	徳永 尚之	一般演題ポスター93「病院管理・経営1-7」	
		リハビリテーション科	平野 哲生	シンポジウム2 セーフティネット医療におけるリハビリテーションの未来を考える(第1部)	
		放射線診断科	古志 和信	シンポジウム8 求められる放射線治療の品質保証 -技術と人材-	
		地域医療連携室	木梨 貴博	バネリティスカッション02 患者・家族の医療と権利と生活をどう守るか	
		看護部	先城 千恵子	ポスター150「地域連携・地域包括ケア4-6」	
21日（土）		リハビリテーション科	平野 哲生	シンポジウム35 セーフティネット医療におけるリハビリテーションの未来を考える(第2部)	
		感染症内科	齊藤 誠司	口演41「免疫・感染」	
		呼吸器内科	岡田 俊明	口演44「呼吸器疾患3-3」	
		リハビリテーション科	石井 達也	ポスター198「理学療法9-11 循環器2」	

当院からは表のごとく20演題のポスター、11演題の口演、1人のシンポジウム発表、10部門の座長として参加がありました。昨年のコロナ禍後初の学会での25演題から7演題の増加でした。その内で栄えある賞に輝いたのは1演題の口演と3演題のポスターでした。

口演では「口演30 肝胆膵」で内海方嗣肝胆膵外科医長が「高齢者胆道癌患者における術前サルコペニアの意義」と題した発表を行い、ベストオーラル賞を受賞されました。胆道患者の80歳以上患者と80歳未満患者では全生存率に差はなかったが全患者でその生存期間規定因子はサルコペニアの程度、リンパ節転移などであり術前からの栄養療法やリハビリ介入の必要性を訴えるものでした。

ポスター部門では、1人目に「ポスター33 上部消化管1-2」で仲村龍斗医師が「急性腹症を呈した成人巨大大網リンパ管瘤の1切除例」と題する発表で受賞されました。本疾患は成人にはまれでMRI、造影CTでは特徴的な所見を示します。本症例は50歳代女性の巨大腹部腫瘍で急性腹症を呈し開腹手術を施行し種々の工夫で完全摘出を行った症例提示でした。

次に、「ポスター186薬剤関連8-11チーム医療」で薬剤部 辻和美薬剤師が「薬剤師による子ども出前講座の活動報告」を発表し、見事受賞されました。2022年より当院では保育士、学校教師の不安負担軽減のため当院の小児医療に携わるチームが保育所、学校、託児所を直接訪問し薬剤師に関しては薬の飲ませ方、座薬の使い方についての指導を行っています。この講座についてのアンケート調査では小児への与薬への負担軽減がなされたことが判明しました。しかし点眼薬、皮膚塗布剤への要望も多く今後の展望も明らかになったとの内容でした。

最後に、「ポスター144疾患別看護3-3」において看護部 小林理秀看護師が「長時間装着が必要な在宅高流量鼻カニュラHFNC療法導入の一例」と題した演題で受賞されました。60歳代肺がん化学療法中でCOVID-19後遺症患者の在宅移行に関する症例報告であり、自宅でのHFNC使用実現に向け退院調整看護師、MSW、在宅医、訪問ステーション職員に当院臨床工学士、機器メーカーにも協力を得て勉強会を行い、また患者、家族にも機器使用の指導でスムーズな在宅移行ができたという内容でした。課題として今後の同様な症例に向けての体制整備の必要性に触れた発表でした。

素晴らしい発表をされた4名の受賞者の栄誉を称えるとともに、今回発表された演者の方々の努力と熱意にエールを送りたいと思います。

来年の国立病院総合医学会は近畿グループの主催で行われます。今回に増して盛り上がることができればと祈念いたします。



ベスト口演賞 受賞

Significance of sarcopenia and inflammation in elderly patients with biliary tract cancer



肝胆脾外科医長
内海 方嗣

Significance of sarcopenia and inflammation in elderly patients with biliary tract cancer

Department of Surgery, National Hospital Organization Fukushima Medical Center

Masashi Ueda, Kai Kitada, Naoyuki Takemoto, Kenko Yumiki, Yuya Sakurai, Hideto Okabayashi, Ryosuke Hamano, Hidetaka Miyata, Tomoko Tsunematsu, Shinya Ochiai, Masaru Inagaki

Background

Biliary Tract Cancer (BTC)

- Increase of the incidence in recent decades
- Surgical resection is the only curative treatment option
- High resection rate is associated with poor prognosis
- Preoperative prognostic markers could assist in treatment stratification

Sarcopenia

Sarcopenia in patients with cancer may be associated with poor overall survival.

- Low muscle mass (PMI) is a marker of sarcopenia
- PMI = measured skeletal muscle mass / ideal skeletal muscle mass
- PMI < 85% defines sarcopenia (SARCOPENIA)
- Low muscle mass is associated with poor prognosis in various cancers
- The potential of IMAC as a negative prognostic marker in hepatobiliary cancer

Inflammation

- Sarcopenia is associated with aging and cancer related inflammation
- Systemic inflammation and nutritional status are associated with poor prognosis in patients with BTC

Elderly patients

The rapidly aging population in the world

- This has led to an increase in the number of elderly patients undergoing surgery for cancer
- The efficacy of surgery in elderly patients has been investigated in various cancers
- However, few studies have investigated the efficacy of surgery in older patients with biliary tract cancer

The aim of this study was to evaluate the prognostic significance of sarcopenia and systemic inflammatory markers in older patients with resected biliary tract cancer.

Methods

142 patients who underwent resection for BTC

2010/1~2022/2 Retrospective study

Elderly group (age ≥ 60 years): n=42 Non-elderly group (age < 60 years): n=100

The relationship between immunopathological variables, including various preoperative inflammation based prognostic markers, sarcopenia marker, surgical outcome was investigated by univariate analysis.

For multivariate analysis, a stepwise regression analysis was performed to identify prognostic factors associated with overall survival.

Sarcopenia markers

PMI: muscle mass (PMI) / marker of sarcopenia

IMAC: muscle mass (PMI) / marker of myopathy

IMAC and muscle PMI: markers of sarcopenia

PMI = measured skeletal muscle mass / ideal skeletal muscle mass

IMAC = ratio of total muscle mass (PMI) to total muscle mass (PMI) + total muscle mass (PMI)

Inflammation based prognostic markers

- Preoperative nutritional index (PMI)
- Neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR)
- Glasgow prognostic score (GPS)
- Platelet-to-lymphocyte ratio (PLR)
- C-reactive protein-to-albumin ratio (CRAR)

RESULTS

Clinicopathological characteristics

Measurement	Age < 60 years	Age ≥ 60 years	P-value
Sex (male)	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Age (years)	45.0 ± 10.0	69.0 ± 5.0	<0.001
Tumor stage	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Pathological tumor stage	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Pathological grade	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Pathological differentiation	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Pathological lymph node metastasis	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001
Pathological vascular invasion	100 (70.5%)	42 (52.4%)	<0.001

Univariate and multivariate analyses of clinicopathological factors for overall survival in elderly patients

Clinicopathological factor	Univariate analysis	Multivariate analysis
T stage (T1-T4)	0.007	0.005
Pathological tumor stage	0.007	0.005
Pathological grade	0.007	0.005
Pathological differentiation	0.007	0.005
Pathological lymph node metastasis	0.007	0.005
Pathological vascular invasion	0.007	0.005

Figure 1 Kaplan-Meier curves of overall survival and disease-free survival

Univariate analysis of clinicopathological factors for overall survival in elderly patients

Univariate and multivariate analysis of clinicopathological factors for overall survival in elderly patients

Clinicopathological factor	Univariate analysis	Multivariate analysis
T stage (T1-T4)	0.007	0.005
Pathological tumor stage	0.007	0.005
Pathological grade	0.007	0.005
Pathological differentiation	0.007	0.005
Pathological lymph node metastasis	0.007	0.005
Pathological vascular invasion	0.007	0.005

Summary

Elderly Patients

- Inflammation based marker: PMI
- Sarcopenia marker: IMAC
- Disease stage: T stage
- Induction of preoperative adjuvant chemotherapy
- No difference of postoperative complications and survival compared to non-elderly patients

Independent prognostic risk factors in elderly patients

- Preoperative factors
- PMI: 0.007
- IMAC: 0.007

- Postoperative factors
- T stage (T3a-T4): 0.005
- Lymph node metastasis: 0.005
- Postoperative complications (C-Care): 0.005

Discussion

PMI

- A marker of nutritional status and systemic inflammation
- It is often accompanied by a low total lymphocyte count
- Easy to obtain from routine preoperative blood tests
- PMI can be used as a prognostic marker in patients with various cancers
- DBC (disease burden coefficient)
- PMI = 100 - DBC
- PMI = 100 - (total lymphocyte count / total white blood cell count) × 100
- PMI = 100 - (lymphocyte count / total white blood cell count) × 100

Discussion

Elderly BTC patients

- Fatty, physiologic reserve ↓, infection level ↓, delay of recovery
- Preoperative nutritional support improve the nutritional status of patients with hepatobiliary-pancreatic carcinoma because of a high prevalence of malnutrition
- The impact of nutritional therapy on prognosis after liver transplantation in patients with sarcopenia
- Supplementary therapy focusing on nutrition and rehabilitation may improve outcomes after resection of biliary tract cancer in patients with myopathy and poor nutritional status
- The efficacy of such therapies requires further evaluation in prospective studies

この度第77回国立病院総合医学会にてベスト口演賞を頂きました。「高齢者胆道癌患者における術前サルコペニアの意義」という演題で、術前のサルコペニア[骨格筋量(PMI)と質(IMAC)の低下]が高齢者胆道癌術後における予後規定因子になるといった内容を発表いたしました。今回の結果からサルコペニアを伴う高齢者胆道癌患者は術前からリハビリ、栄養療法の介入を行うことで予後改善につながる可能性が示唆されました。PMIやIMACなどのバイオマーカーは予後予測やリスク評価に非常に有用であり、まだこの領域ではデータ収集や解析できる内容はたくさんあるため今後も学会発表、論文作成を継続していきたいと思います。

国立病院学会は自分のsubspecialityの学会(消化器外科学会、肝胆脾外科学会etc)とは異なり、厳しい質疑応答はなくあまり気を張らなくていい学会と考えていましたが、今回発表後に意外と得た鋭い質問があり、少し汗をかきつつ何とか平静を装い返答できました。質疑応答の内容も評価していただいたのかもしれません。

最後になりますが、ご指導いただきました先生方や治療に携わったわったスタッフの方々に感謝御礼申し上げます。

Discussion

IMAC (Inflammation based marker score)

GT value of muscle - GT value of subcutaneous fat

Predictors of poor OS in patients with extrahepatic biliary tract cancer

Myopathy/IMAC

GT value of muscle - GT value of subcutaneous fat

Prognostic value in patients with gastric and colorectal cancer

Conclusion

- Preoperative myopathy and low PMI are prognostic factors for overall survival in patients aged ≥ 60 years with resected biliary tract cancer
- PMI and myopathy may be useful for risk stratification and clinical decision-making in these patients
- Early interventions, such as nutritional support and rehabilitation, may improve outcomes after resection of biliary tract cancer

ベスト
ポスター賞

ベストポスター賞 受賞

急性腹症を呈した 成人巨大大網リンパ管腫の1切除例

初期臨床研修医
仲村 龍斗



急性腹症を呈した成人巨大大網リンパ管腫の1切除例

仲村龍斗¹、大塚 真帆¹、袖木宏介²、櫻井清哉¹、岡林弘樹¹、内海方嗣¹、
北田浩二¹、濱野亮輔¹、徳永尚之¹、宮宿秀明¹、常光洋輔¹、豊川達也¹、種崎豪¹
1. 福山医療センター初期研修医 2. 福山医療センター外科 3. 福山医療センター消化器内科

<症例>

【患者】50代 女性

【主訴】腹部膨満感

【既往歴】子宮筋腫、気管支喘息

【アレルギー】なし

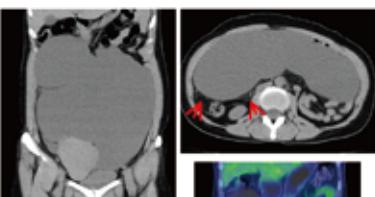
【現病歴】6年前より造影CT検査にて19×15cmの大網リンパ管腫と診断され経過観察となっていた。1年前より増大傾向を示し22×18cmまで増大し手術目的で当科紹介となった。



検査データ	WBC	4.1	10 ⁹ /μL
Hb	9.7	g/dL	
CRP	0.46	mg/dL	
TP	6.2	g/dL	
Alb	3.1	g/dL	
Urea	139	mg/dL	
AST	52	U/L	
ALT	8	U/L	
T-Bil	0.2	mg/dL	
BUN	13	mg/dL	
Gra	0.58	mg/dL	
CEA	0.68	ng/mL	
CA19-9	3.04	U/mL	

<当科紹介後>

右下腹部痛出現し、CT検査にて腫瘍の大きさ26×24cmまで増大し、右側部の周囲で脂肪組織密度上昇(↑)、少量の液体貯留を認めた。挙血にて炎症反応度上昇認めた。



切迫破裂の可能性あり



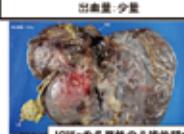
手術予定を早める方針となる

子宮筋腫に一部FDG集積があるが、大網の腫瘍にFDG高集積は認められず、積極的に悪性疑う像は見られず。

<手術(腫瘍摘出+胃部分切除術)>

手術所見

- 10cm小腸管にて腫瘍認定。
- 穿刺後約(278cc)で腫瘍を缩小。
- 健前を剥離。
- 胃体中部大奇巣への挿離を認めた剥離困難のため3cm程度胃脛合併剥離を行った。
- 排出標本1065g
- 手術時間: 3時間58分
- 出血量: 少量



<術後経過>

3POD: 横口ガストロ透視胃管なし飲水開始。

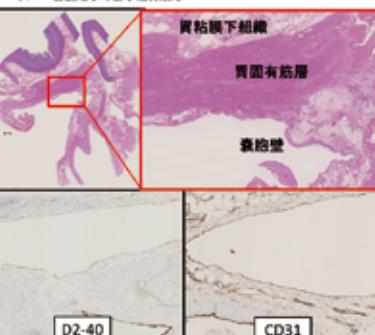
4POD: 食事開始。

8POD: 痒感良好にて退院。

<病理組織学的検査>

炎症細胞が散見されたが悪性所見認めず。

D2-40一部陽性、CD31陰性、Calretinin陰性。胃固有筋層に癌巣。→リンパ管腫として合う所見。



<考察>

- リンパ管腫は小児の頭部、腋窩等に好発する良性腫瘍で成人では稀である。腹腔内発生は5%未満とされており、成人発症の大網リンパ管腫は極めて稀である。
- 特異的な症状ではなく、他疾患の検査や腫瘍の捻挫による急性腹症を来たした結果、発見されることが多い。
- 充実性成分や不整などのう胞壁の肥厚など悪性を示唆する所見や症状出現の場合は手術が必要である。
- 大網リンパ管腫は通常、低侵襲の観点から腹腔鏡手術の対象となるが、切除に当たっては再発やリンパ漏を防止する目的で開腹術や部分切除ではなく完全切除が望ましい。

本症例では

- 既往の子宮筋腫の検査にて大網リンパ管腫が発見された。
- 腫瘍が巨大なため、腹腔鏡では完全切除困難と判断し、小開腹術を選択した。
- 術中穿刺し、のう胞液を排液して縮小させてのう胞の完全摘出を行った。

<結語>

- 成人発症の巨大大網リンパ管腫の1例を経験した。
- 置換液の排液は炎症範囲の縮小に有効である可能性を示唆する。

<参考文献>

- 川守晋博士、佐藤義輔、大島寿也: 痢便直下に認めた成人大網リンパ管腫の1例. 日医会会報 2013; 94: 3215-3216
- 小牛一郎、加藤真二、吉原昌也: 成人大網リンパ管腫の1例報告. 日清外会誌 2006; 29: 1182-1185
- 佐藤晋介、吉川大博、吉田勇治: 痢便直下に完全剥離した大網リンパ管腫の1例. 日医会会報 2001; 82: 383-386

若月龍斗 国立病院学会 001開港 亂目先生名: 仲村龍斗

発表発表に感謝致し、掲示すべき乱目先生にあらざる企画などはありません

第77回国立病院総合医学会にて「急性腹症を呈した成人巨大大網リンパ管腫の1切除例」という題目でポスター発表を行い、ベストポスター賞を頂くことができました。大網リンパ管腫は小児に代表的な良性腫瘍ですが、成人に発生することは極めて珍しいため今回発表させていただきました。

初めての学会発表であったため、分からぬことも多々あり、患者さんのカルテを隅々まで確認しておくことはもちろんですが、ポスターの編集の仕方や論文検索からの情報収集など、慣れないことばかりで多くの時間を費やしたのですが、実際の発表時間は5分ほどと拍子抜けするほどの短さでした。少し緊張しながらも発表を終えると、その後にもっとこうすればよかったなど色々と反省点も出てきました。しかし、その後の開放感と汁なし担々麺が一生忘れられないものとなりました。先生方の勧めに乗り、初期研修医の間に学会発表ができる良かっただと思いました。次回以降、この経験を活かしてより良い発表ができるよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、本症例の発表に際してご支援いただいた外科の大塚先生、袖木先生をはじめ関係者各位にこの場をお借りして御礼申し上げます。



ベストポスター賞 受賞

薬剤師による 「こども出前講座」の活動報告



薬剤部
辻 和美

薬剤師による「こども出前講座」の活動報告



○辻 和美¹⁾ 渡辺 江未¹⁾ 高橋 洋子¹⁾ 小川 朋美²⁾ 正木 幸²⁾
奥野 小百合²⁾ 土肥 政美²⁾ 田野 真²⁾ 奥崎 瑛波²⁾ 木村 崇³⁾
大平 錠也⁴⁾ 板本 朋子⁴⁾ 藤原 達昌⁴⁾ 荒木 優⁴⁾ 田村 浩二⁴⁾
1) 国立病院機構福山医療センター 薬剤部 2) 国立病院機構福山医療センター 看護部
3) 国立病院機構福山医療センター 事務部 4) 国立病院機構福山医療センター 小児科

はじめに

2022年度から当院では「保育士や学校の先生の不安や負担を少しでも減らすこと」を目標に、福山市の保育所、学校施設、託児所や子育て支援施設の職員を対象に、小児医療に携わる医療者が各施設を直接訪問し、疾患に関する最新情報の提供や適切なケア方法を指導する「こども出前講座」を開始した。薬剤師は基本となる「薬の飲ませ方」と「生薬の使い方」について指導を行った。



目的

薬剤師が行うこども出前講座に対する評価や今後の課題を明らかにする。

対象と評価方法

2022年度に薬剤師がこども出前講座を行った施設の職員を対象に、講義後無記名アンケート調査を実施した。項目は「講義内容」「わかりやすさ」「質問のしやすさ」「講座の時間」「また利用したいか」とした。

結果

2022年度は合計9回(うちリモート4回)開催し、15施設の職員が受講。

役職	回答者(72名)	年齢	回答者(72名)
保育士	63名(88%)	20歳代	25名(35%)
管理職	2名(3%)	30歳代	15名(21%)
給食の先生	4名(6%)	40歳代	17名(24%)
その他	3名(4%)	50歳代	13名(18%)
		60歳以上	2名(3%)

訪問した施設の職員の多くが
坐薬使用経験や与薬経験が無かった。
『薬の飲ませ方、坐薬の使い方』を
テーマに選択したことは妥当であったと評価する。

講座の内容



わかりやすさ



質問のしやすさ



講義内容、わかりやすさ、質問のしやすさに対する評価は高かった。

こども出前講座の実施時間は60分。スライドを用いて説明に使用する時間は15分。残り45分は質疑応答の時間とした。

講座の時間	回答者(72名)
短い	1名(1%)
ちょうどいい	71名(96%)
長い	0名(0%)

意見の午睡時間帯などを利用し、講座を行うために説明時間を短時間に留め、
職員が抱える与薬に対する疑問や不安に対する回答に重点をおいて講座を行った結果、
講座の時間は「ちょうどいい」と評価を得ることができたと考察する。

また利用したいか



『また利用したい』の評価が多かった。
新しい職員の方が来るタイミングで再度利用したいという意見や、
坐り薬の塗布の目安、点眼薬の使用方法などテーマの追加を希望する意見もあった。

アンケートの結果、薬剤師による「こども出前講座」は好評であった。施設職員から「初めて与薬をする場合、この方法は正しいのかと不安になる」という意見が多く寄せられた。こども出前講座を通して薬剤師が適切な薬の情報を発信していくことが大切であると実感した。

結語

薬剤師による情報提供は、小児の与薬に関する不安を軽減させることができる。施設職員の不安を取り除くことは、小児を取り巻く環境の改善にもつながる。今回は内服薬と坐薬に関して講座を行ったが、与薬者は点眼薬や塗り薬などの外用薬も使用する機会もあるため講義内容を拡大する必要があることが明らかになった。今後もこども出前講座を通して、小児医療の安全に貢献していきたい。

2022年度より当院では「保育士や学校の先生の不安や負担を少しでも減らすこと」を目標に、福山市の保育所、学校施設、託児所や子育て支援施設の職員を対象に、小児医療に携わる医療者が各施設を直接訪問し、疾患に関する最新情報の提供や適切なケア方法を指導する『こども出前講座』を開始しています。医師と看護師は「食物アレルギーとアナフィラキシー」「誤飲・窒息」「熱性けいれん」、薬剤師は「薬の飲ませ方と坐薬の使い方」について、必要に応じてZOOMを用いてリモート配信にて指導を行っています。

国立病院総合医学会では、薬剤師による『こども出前講座』の活動報告を行いました。こども出前講座を受講した職員のアンケート結果から薬剤師による情報提供は、小児の与薬に関する不安を軽減させることができると実感することができました。

他施設からは病院外での活動であること、他職種と連携して行っていることを評価していただきました。

今後もこの活動を通して安心安全な小児医療に貢献していきたいと思います。

最後になりますが、発表に際してご支援頂いたこども出前講座の関係者各位にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



ベスト
ポスター賞

congratulation



ベストポスター賞 受賞

長時間装着が必要な在宅高流量鼻カニュラ療法導入の一例

5A病棟

小林 理秀



【目的】
一例の大半を高流量鼻カニュラ療法（以下、HFNC）が必要である患者の在宅HFNC導入を経験した。その際の課題を報告する。

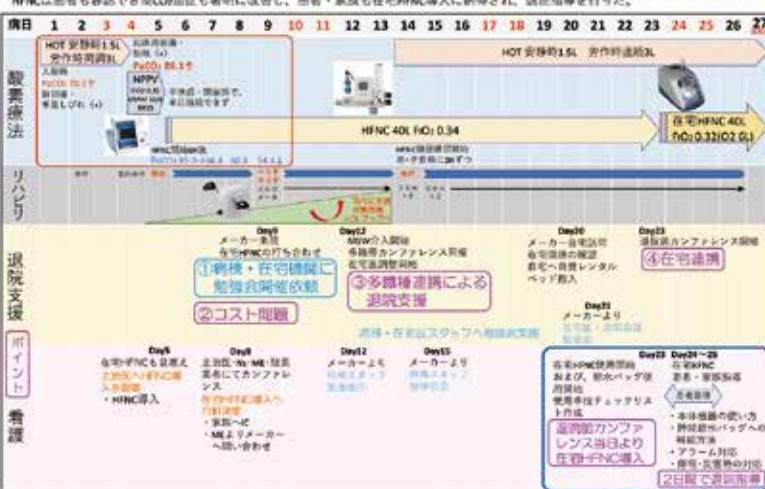
【患者紹介】
A氏 60歳代男性 COVID-19罹患後、間質性肺炎既往歴

左上葉肺癌（左上葉部分切除術後）、COPD、右肺炎・胸膜炎・右気胸（胸膜瘻瘍者療法・手術実施）、肺結核、左腎術後歴

- 入院までの経過
 - X-2年 左上葉肺癌の手術実施後、化学療法開始
 - X-1年 →化学療法中にCOVID-19に罹患。その後肺炎を発症（中等度Ⅱ）。HOT導入後退院。翌月、間質性肺炎急性増悪にて再入院
 - 右肺炎・右気胸にて胸膜瘻瘍者療法3回実施後、手術→呼吸困難、手足しびれにてMSツワイスロン（20mg/日）・抗不安薬内服開始
 - X年 →間質性肺炎急性増悪にて入院。MSツワイスロン（30mg/日）増量。頻脈発作出現

【看護と実際の経緯】

COVID-19重症症。約1年半で徐々に慢性呼吸不全が進行し、高CO₂血症が増悪傾向のため入院となる。入院後、高CO₂血症が更に悪化し、痰多・頭痛などが出発したためHFNC導入するが、呼吸困難・圧迫感で半日も耐えられなかった。主治医へHFNC導入を提案し導入開始。HFNCは患者も容認でき高CO₂血症も改善し、患者・家族も在宅HFNC導入に納得され、退院指導を行った。



【考察1】退院支援

当院、在宅機器メーカーともに在宅HFNC導入の初産例であり、手順通りでの導入となった。施設導入・退院支援においてポイントとして考えられたことが、以下の4点であった。

①新規・在宅機器に熟悉会開催依頼

機器メーカーより協力を得て早期に器具会を行えたことは、実証例上適切であった。当院及び施設においても初産例であり、導入への不安が解消できた。

②コスト問題

退院指揮内容や患者音声の機器操作。使用方法習得に必要な時間が不明確で、予定では別次第。患者へ在宅HFNC導入の予断であった。シングルルーム費を請求することが表面化すると手順導入は概念をさげる程になかった。今後の導入時に向けたコスト面への対策を検討していく必要がある。

③多臓器連携による退院支援

導入手順がなく、多臓器での情報共有やその体制構築が不十分であると考えられた。今後、導入手順を作成し、床棟内や多臓器でのカンファレンスを定期的に開催することで会うことを、クリニカルパスなどを作成し同じ視点で状況判断ができる体制構築が必要である。

④在宅指導

在宅HFNC機器の使用方法は、毎日導入のため未習得の部分があり、退院後カンファレンスの在宅側からの意見で、追加指導が必要な部分が確認された。

しかし、患者の強い希望で早期退院を希望されたため、限られた日数での患者指導が必要となつた。

今後、入院中より在宅医や訪問看護ステーション等の協力機関とも、導入手順や指導等、状況が共用できるツールを作成し、スマートな導入調整を行える配慮が必要である。

【課題】

- 在宅HFNC導入時は院内だけでなく、地域（在宅医・訪問看護ステーション等）や機器メーカーと連携・協働し、スマートな導入調整が行えるよう配慮が必要である。
- クリニカルパスや導入手順を用いて定期的にカンファレンスを行い、多職種が共通の視点で導入支援に取り組めるよう体制整備を行っていく必要がある。

この度「長時間装着が必要な在宅高流量鼻カニュラ療法導入の一例」という題目で発表し、ベストポスター賞を頂くことができました。

この“在宅高流量鼻カニュラ療法”とは、一般的に“在宅ハイフローセラピー”と呼ばれ、2022年4月より正式に在宅で使用できるようになった在宅酸素療法の一種で、マスク型人工呼吸器と在宅酸素療法の中間に位置するような機器となります。当院での導入実績はまだ少ないですが、今現在も全国各地で徐々に導入が進んでいます。機器の特性上、まだまだ課題も多く、使用できる疾患がCOPDに限られている、酸素濃度があまり高く設定できない、加湿水の持ち時間等の課題も抱えており、実際の導入では院内・そして在宅医・訪問看護ステーション等の多職種での密な連携が必要となります。今回の演題発表でも、加湿水に関する事、多職種連携について触っています。

在宅酸素療法だけでは今まで自宅に帰ることが困難だった患者様が、“在宅ハイフローセラピー”を導入することで安心して自宅で長期間生活でき、入院中・退院後もシームレスに多職種で支援できる体制構築に尽力していると思います。

最後になりますが、本症例の発表に際してご支援いただいた看護部、臨床研究部の関係者各位にこの場をお借りして御礼申し上げます。



いろんなテーマでつぶやきます 外科医のひとりごと

Vol.48 「AI超えの超人・藤井聰太」



福山医療センター
外科診療部長
大塚 真哉

プロフィール
1980年岡山大学医学部卒、医学博士。岡山准生会病院、岡山大学などを経て09年から福山医療センター外科勤務。専門は消化器外科、特に胃がん大腸がん外科。岡山大学医学部臨床教授。日本内視鏡外科学会評議員で、ESMO(欧洲臨床腫瘍学会)などに所属。座右の銘は山本五十六の「やうでみせ、言って聞かせて、させてみて、はめてやらねば、人は動かじ」。

将棋による効果
藤井聰太さんが「終盤A」の予想を覆し、王座を制して八冠を成し遂げました。全冠達成者は1957年三冠の升田幸三さん（当時三歳）、63年五冠の大山康晴さん（三九歳）、96年七冠の羽生善治さん（二五歳）だけ。一一歳での達成はすごい記録です。

初代全冠者の升田にはこんな話があります。将棋連盟の代表として戦後にGHQから呼び出しを受け、「将棋は相手から奪った駒を味方として使うが、これは捕虜虐待の思想につながる野蛮なゲームである」として禁止を迫られました。

升田は「将棋は人材を有効に活用する合理的なゲームであるが、チエスは取つた駒を殺し、これこそ捕虜の虐待ではないか」と反論したそうです。GHQ相手に脆することのない気概を感じます。

藤井さんは対局以外に詰め将棋とA-I将棋で実力をつけたようですが、将棋素人の私も子供の頃から理詰めの詰め将棋は好きでした。数学好きの藤井さんが大学に進めば、すごい科学者になつていたでしよう。

【脳を使うとやせる?】

ワードショリーの視聴者の間では、難しい将棋の解説よりも棋士の勝負飯やおやつが話題となります。頭を使つと血糖値が下がり、空腹感を覚えて食欲が強くなりますが、脂肪の消費は行われません。

【将棋と認知症予防】

藤井さんの活躍で子供の将棋教室が人気となり、最近は保護者を指す「親将」や、観戦専門の「観る将」という言葉も出現しています。

高齢者にとっては認知症予防にも効果があるようです。認知症が専門の近畿大医学部・花田一志先生によると、将棋や囲碁で頭を使うことで思考・運動・創造などに関わる前頭葉が活性化し、認知症予防に効果が期待できるそうです。また、ゲーム将棋よりも実際に人と対戦する方が、対局中のコミュニケーションも生まれ、より脳が活性化されるようです。

人のエネルギー消費は基礎代謝量（約60%）、食事誘発性熱産生（約10%）、身体活動量（約30%）の三つで構成されています。意外です



が、脳は基礎代謝量の20%ものエネルギーを消費しています。成人の脳重量は一、二十一・五キロで、体重の2%ほどに過ぎないので、これは大変な消費量です。プロのエスプレーヤーの消費カロリーは一日六〇〇〇*キロにもなるそうで、頭をよく使えばダイエットに効果があるようにも思われますが、結論から言うと難しいようです。脳はグルコースという形でしかカロリーを消費しません。頭を使つと血糖値が下がり、空腹感を覚えて食欲が強くなりますが、脂肪の消費は行われません。

身体活動量の多くを占める筋肉の場合はグルコースを優先して消費するものの、血中のグルコースが低下すると脂肪を消費するようになります。ダイエットには食事管理（摂取カロリーの制限）と運動（身体活動量の増加）が必要です。

29



山陰鳥取便り

No.40



鳥取大学医学部附属病院小児外科
教授 長谷川 利路

NHK朝ドラ「ブギウギ」、先月から始まっていますが、皆さん見ておられますか!

「東京ブギウギ」などのヒット曲を出した歌手「笠置シヅ子」をモデルにしたドラマです。大阪出身とは私も知らなかったのですが、我々が学生の頃阪大病院があった大阪市福島区の風呂屋の娘として育った主人公が「ブギの女王」として成功していくという痛快ドラマになっています。作品は全体に歌や踊りに溢れストーリーとともに飽きない内容で、特にドラマの最初の軽快なテーマ音楽と異様に首が長い奇妙な人形とCGによるイントロが特徴です。「怖い」「気持ちが悪い」「朝から気分を害する」など否定的な意見が多い中で、私は斬新な試みとして興味を持って観ています。

少し前NHKテレビで亡くなった美空ひばりさんを像的に生き返らせて歌や踊りを披露するという番組を放映していました。これはNHK局やレコード会社に残る沢山の音源、映像をもとに、AI技術によって目線やひばりさんの特徴的で嫌味な口元を歌唱とともに巧みに再現したものでした。私は最初「ブギウギ」の人形ダンスを見たとき同じようにすべて生成AIがCGを駆使して作っているのだろうと思っていました。ところが、NHKの違う番組ではイントロで「手作りの棒遣い人形」を5人くらいの人形師が棒を操って動かしているところで、ほとんど手作業で制作していると聞いてビックリしました。

さらに最近では「初音ミク」など、AIを搭載したバーチャルシンガーが登場しており、作曲家渋谷慶一郎氏は、人間ロボットのアンドロイドにコンピュータ音楽を歌わせてボーカロイド・オペラを発表し、西洋文化の人間中心主義の極致ともいいくべき「オペラ」という形式に敢えて挑発するような試みをしておられます。しかしながら今後「ブギウギ」の人形のようにこれがまた回りまわって手作りの操り人形に替わっていくかもしれません。

さて、皆さんは海外旅行中に病気や怪我などの身体的トラブルに合ったことはありませんか?この夏に起こった私の体験をお話します。

7月ドイツに行った時のことです。最初ミュンヘンでのオペラ音楽祭に行き、その後ベルリンに飛びました。ベルリンフィルの本拠地の近くの楽器博物館に行って、珍しい古楽器など滅多に見れない満足して近くのレス

トランに入りました。シーザーサラダにシュリンプ(海老)にするかステーキにするか迷ったのですが、前日ミュンヘンでは魚介類を堪能していたので肉にしました。その肉が少し固く思い切って噛んだ時口の中で「ぐぎっ」という違和感を覚えたと同時に歯の詰め物(因みに英語でFillingと言います)が取れてしまったのです。即座にアイホンでDental clinicを調べ(便利ですね!)電話をすると、「分かった。では来週の火曜日に来てくれ」というので、埠があかず翌日ミュンヘンに戻る予定だったので、ミュンヘンでの歯科を調べました。中に「日本語の分かるスタッフがいます」というのがあり、さっそく電話すると「今東京にいるけど、予約しといてあげます」ということで、翌日ちゃんと詰め物を入れてもらい、事なきを得ました。しかしながらその間食事は減茶不便で水分(つまりビールとワイン)しか喉を通らず、少し痩せたような気がしました。さて料金ですが、海外での医療費はかなり高額だということを聞いていたのでビビっていましたが、海外旅行傷害保険(新型コロナ感染などで帰国できないことがあるので是非入ったほうが良い)の掛け金より少し高かったぐらいで、結局利益が出たという結果になりました。



ミュンヘンで係った歯科医、DrEllen パンフレットより



ベルリンフィルホール

連載
No.102

在宅医療の現場から

【美味しく食べよう!】

当院の外来の待合室には大きなオープンキッチンがあります。
ここでは日々、管理栄養士が色々な料理の試作をしています。
この日は秋のパンを焼こうと朝から気合いをいれてパンの下準備。
生地をこねていると、医院にきた患者さん方が台所に集まってこられます



訪問診療部 部長
歯科医師

猪原 光

「美味しい香りね!何のパンを焼いていらっしゃるの?」
歯科医院にはパンの焼けるよい香りが広がっています。

当院は全国的にみても非常にユニークな医院とあり、全国から見学が沢山こられます。
いつも美味しい香りに囲まれて、患者さんをお迎えしています。

歯科にはみなさん何のためにくるのでしょうか?
それは、美味しく生涯大好物を食べるためですね。

当院は多様な専門職が在籍しており、トータルで食べることをサポートしています。
美味しいご飯を食べる時、お皿が汚れていてはどうでしょうか。
美味しいご飯も半減してしまいます。
お口の中をよい状態に保ち、しっかりとメンテナンスをしていくことは
まさに、美味しいを実感する準備をしていくことになります。

当院の多くの患者さんは歯科と痛くないお付き合いをされています。
定期的にメンテナンスに通われており、担当の歯科衛生士にメンテナンスをしてもらいながら、楽しそうな声が部屋から聞こえてきます。

「最近は、お客様との商談の時に砂糖入りのコーヒーをやめて、ミルクだけにして砂糖を減らしたよ。」「ちゃんと晩酌した後もはぶらしして寝ているから!」「歩くようにしたらすごく体調がよくて、美味しく食べれるようになりました。」

色々ご自身の生活や健康のお話しをしてくださいながら、一緒に健康を考えていきます。

そんな話をしている時に、美味しい香りが台所からしてきます。

あ~食べることは幸せ!患者さんと一緒に
食べることを実感する時間です。

ぜひ皆さん、ご自身のかかりつけ歯科に行つ
てくださいね。歯科とは痛くないお付き合い
をするためにも、メンテナンスに通い、生涯
の美味しい!をぜひご自身で維持していって
ください。

医療法人社団 敬崇会

猪原 [食べる]
総合歯科医療クリニック

〒720-0824

広島県福山市多治米町5丁目28-15

TEL 外 来/084-959-4601

訪問部/084-959-4603

FAX 外 来/084-959-4602

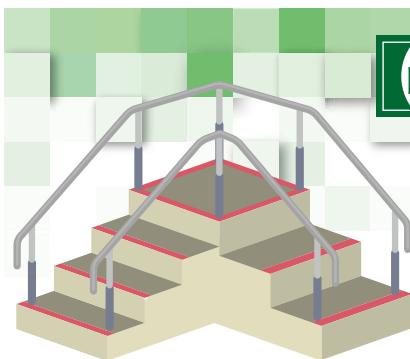
訪問部/084-959-4604

当院は、2023年10月1日より、名称を変更いたしました。
これまで、患者様の「おいしく食べる」に寄り添うことを、
治療方針として掲げて、やってまいりました。

それを、よりわかりやすくお伝えしながらも、総合的な歯科医療でみなさまをお支えしたいという
想いから、医院名を変更するに至りました。

ずっとおいしく食べ続けたいという、みなさまの気持ちへ、これからも寄り添ってまいります。





No.7 リハビリテーション科

水永リハビリテーション病院との 合同勉強会を開催

リハビリテーション科
理学療法主任

石井 達也

今年に入り新型コロナウイルスが5類となり、医療現場においても少しずつコロナ禍前に戻りつつあります。そういった中で、より良い医療を患者様に提供するために日々医療従事者は研鑽を積んでおります。コロナ禍ではオンラインでの勉強会などが主流でしたが、この度、南蔵王町にある水永リハビリテーション病院のリハビリテーション部と当院のリハビリテーション科による対面式での合同勉強会を開催いたしました。

水永リハビリテーション病院とは後方支援病院として常日頃から尽力していただきおりました。しかし、コロナ禍となり互いのリハビリテーション職員同士の交流が途絶えていました。そんな中、コロナ禍も明けてきた昨今に交流を深め連携強化をしたいと思い、今年度初頭に合同勉強会を提案させていただき、了承していただきました。水永リハビリテーション病院 リハビリテーション部 古澤 潤一 部長とともに綿密に計画を立てていき、来る9月22日に第1回目の合同勉強会を開催することができました。

今回の勉強会のテーマは「大腿骨近位部骨折（股関節の骨折）」についてでした。講師は若輩ながら私自身がさせていただきました。大腿骨近位部骨折は現代、未来の日本において切っても切り離せない骨折であり、高齢化社会とともに増加してきています。この骨折をしてしまうと著しく歩行能力が低下してしまい、回復までに時間を要します。最悪の場合、寝たきりになってしまう可能性もあります（実際に私の祖母（93歳）はこの骨折の影響で、現在はほぼ寝たきりとなってしまいました）。少しでも自分の足で歩けるためには、手術後のリハビリテーションが非常に重要になってきます。

当院では手術後問題なければ翌日から起きる練習を行い、可能な限り早く車椅子へ移る練習や歩く練習を開始しております。色々な過去の研究からも手術後から早く起きて早くから歩く練習を始めた患者は、自宅へ退院できる確率も高くなり、自分で歩ける確率も高くなるといった裏付けもされております。当院のような「急性期」を過ぎると水永リハビリテーション病院のような「回復期」へと転院していくたまっています。当院でしっかりとリハビリテーションを行った上で、さらに充実したリハビリテーションを提供していただける「回復期リハビリテーション」とは連携が重要になります。

今回の勉強会を通してお互いの病院でどういったところを目指してリハビリテーションを行うべきか、急性期リハビリテーションではどのようなリハビリテーションを行っているのかなど、1時間を超える非常に活発な勉強会となりました（私自身はまだまた話したりないところもあり、もっともっと議論していたかったです）。このような会は職員にとって非常に刺激的になり、日々の患者様へのリハビリテーションへと繋ぐことができます。

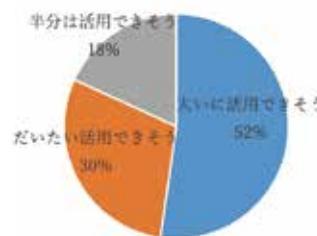
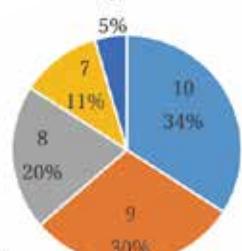
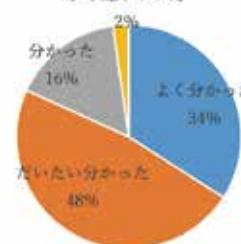


この会に関しては今後とも定期的に開催する予定となっております。水永リハビリテーション病院との連携や知識を深め、患者様の自宅復帰が1日でも早くできるように尽力していきます。

最後になりましたが、無事開催できたことは古澤部長をはじめ、勉強会へ参加していただいた水永リハビリテーション病院の職員、当院の職員のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。



日々の臨床への応用

勉強会の満足度（10段階）
(1=低 10=高)勉強会の理解度
少し難しかった

アンケート結果

当日の様子



連載
36

映画への誘い

最終回



高橋 斎
誠

挿絵 岡本 誠

2020年12月号から連載させて頂いた「映画への誘い」もこの11月号で丸3年となり、本号で終わりとなります。貴重な誌面をお借りして好きな映画のコメントを自由に書かせて頂き有難うございました。

挿絵の岡本画伯には、ご多忙の中絵筆をとって頂き感謝に堪えません。最終回は、私の出会った映画関係者(俳優、監督)3人について、その関連映画も交え、書かせて頂きます。



1. 光本幸子(俳優)

2004年(平成16年)、当時日本橋にあった広島銀行の東京支店に勤務していた私は、浅草に近い本所吾妻橋に住んでいた。地下鉄都営浅草線で通う毎日。仕事が終わると、その帰り道、風情のある居酒屋の多い人形町で時折途中下車しては、一杯飲んで帰っていた。

広島にゆかりのある居酒屋ということで、紹介されたのが、東広島市のK酒造が経営していた人形町の大観音(今はない)という居酒屋。何度もお邪魔するうち店長とも親しくなった。

ある時、支店の若い者数人を連れて飲みに行くと、店長から「今日は、今から、俳優の光本幸子さんが来られますよ。さっき電話があったんですよ」と伝えられた。かねてより私の映画好きを知っていた店長が教えてくれたのだった。

光本幸子さんといえば、あの寅さん第一作のマドンナである。光本さんが、人形町の明治座の社長夫

人であるということは、私も知っていたが、まさか人形町で会えるとは思ってもいなかった。光本さんは大観音の常連でもあったのだ。

さて、店長の紹介のお陰で光本さんは、我々の輪の中に入り、私の前に座った。「今日はさ、日帰りでさ、京都の醍醐寺の花見に行っての帰りなのよ。新幹線でも結構飲んでんのよ。花見は本当によかったです。」と言って、熱燗の盃をぐっと空けた。

着物姿の光本さんを想像していたが、現れたのは、ジーパンに革ジャンパーの颯爽とした光本さんだつた。当時私は、55歳ぐらい、光本さんは60歳ぐらいだろうか。光本さんは、当時も舞台で活躍されていたが、2013年69歳で亡くなられた。

初代のマドンナを前にして何をしゃべったのか思い出せないが、光本さんの江戸っ子らしいきっぷの良さと、衰えぬ美貌、飲みっぷりの良さは、今も眼前に蘇つてくる。



2. 西川美和(監督)

2008年(平成20年)、銀行最後の勤務地が、出身地の福山になった私は、友人知己も多い地元に赴任出来、恵まれた環境だった。多くの人の交流の中で、当時所属したライオンズクラブで親しくして頂いたのが、福山の映画産業をリードして来られた(株)フューレック(旧藤本興行)会長のFさん。

Fさんからは、映画の全盛期の話もよく聞かされた。テレビが普及する前の昭和初期から半ばあたり、ドアを押しても入りきれないくらいの立ち見の觀

男はつらいよ第一作(1969)

20年ぶりに故郷の柴又に帰って来たテキヤ稼業の寅さん(渥美清)。寅さんは、妹さくら(倍賞千恵子)の縁談話をぶち壊してしまう。

いたたまれず旅に出た寅さんは、奈良で旅行中の柴又帝釈天の御前様(笠智衆)とその娘冬子(光本幸子)と再会する。幼馴染の冬子に恋した寅さんは、柴又へ帰ってからも冬子の元へ日参する。

一方、裏の印刷工場に勤める諫訪博(前田吟)は、寅さんの妹さくらへの思いを慕らせていた。妹の結婚にひと肌脱ごうとする寅さん。はたして博とさくらの恋の行方はどうなるのか…。

客。売り上げの札束を大きな籠に入れて、靴で押しても多すぎて入りきらなかったことなど。

フューレックは、Fさんのご子息が社長をしていたが、お取引先でもあり高校の後輩でもあったことから、しばしば事務所に顔を出していた。ある時行くと、今度封切る「ディア・ドクター」の舞台挨拶に、西川美和監督が来ますよ。ご紹介しましょうかということだった。

西川美和監督といえば、デビュー作「蛇イチゴ」(2003)で認められ、「ゆれる」(2006)で大きな賞をいくつも取り、広島出身の押しも押されぬ若手女流監督。今回の「ディア・ドクター」も世評が高く、私も見ようと思っている作品だった。

ぜひお願ひしますと言って、対面を心待ちにして色紙まで用意した。舞台挨拶の数十分、西川監督と話をさせてもらった。美人で、聰明な西川監督に、うっかりしたことは話せないと緊張したこと覚えている。

広島にはよく帰られるのですか?東京はどこに住んでいるのですか?などのたわいない会話から、「ゆれる」は最初見た時ちょっと分からぬところもあり、2回見ました。「ディア・ドクター」も見ましたよ。など映画についても話したが、西川監督からは、その都度笑顔で話していただき、暖かい時間を過ごすことが出来た。

西川監督は、エッセー、小説なども書いている才女であるが、映画は、5年に一本程度手掛けているようだ。その後「夢売る二人」(2012)、「永い言い訳」(2016)、「すばらしき世界」(2021)が公開されている。次回作が最も待たれる監督の一人である。

ディア・ドクター (2009)

山間部に位置する人口1千人余りの小さな村の村営診療所から、村の唯一の医師である伊野治(笑福亭鶴瓶)が失踪する。伊野は、高血圧、心臓蘇生、痴呆老人の話し相手、なんでも一手に引き受け、村人から多大の信頼を寄せられていた。しかし彼の背景を知る人は誰一人としていなかった。

失踪前のこと、伊野は鳥飼かづ子(八千草薫)という老女を診察することになる。伊野に次第に心を開いていくかづ子だが、彼女は重篤なガンに侵されていることが判明する。伊野は、かづ子の「自分の家族に嘘をついて欲しい」という願みを受け入れる。

だが伊野がその願みを聞きいたことにより、彼の隠してきたある事実、大きな「嘘」が浮き彫りになる。伊野は故失踪したのだろうか…?



妻よ薔薇のように 家族はつらいよⅢ (2018)

2016年の「家族はつらいよⅠ」、2017年の「家族はつらいよⅡ」に次ぐ第三作。第一作は、熟年離婚、第二作は、無縁社会、第三作は、主婦への賛歌をテーマに描いた。

三世代賤やかに過ごす平田家。ある日、主婦史枝(夏川結衣)が、家事の合間にうとうとしていた昼下がり、泥棒に入られ、冷蔵庫に隠していたへそくりを盗まれてしまう。夫幸之助(西村まさ彦)は、「俺の家でへそくりしていたのか」と心無い言葉を口にする。

ついに我慢も限界に達し、史枝は家を飛び出してしまう。掃除、洗濯、朝晩の食事の準備、主婦がいなくなってしまった家族の暮らしは大混乱。家族は崩壊の危機に…。

—終わり—

3. 山田洋次 (監督)

1973年(昭和48年)、同期入社のT君は、大崎上島町の出身である。長男であるものの、将来故郷に帰る可能性は低いと思い、会社勤めの間に、広島に居を構えていた。

彼の家はミカン農家。父がずっとミカン作りに携わっていたが、次第に衰えてきたため、彼も定年後は手伝いに帰っていた。やがて父が動けなくなり、その後亡くなつたため、放棄地にするには忍びないと、ミカン畑を引き継いで、今では大崎上島を拠点に、時折広島に帰る生活をしている。

一度ミカン狩りに来ないかという誘いに応えて、2017年の秋に友人と行くことになった。ミカン狩りがメインだが、かねて泊まつたかった大崎上島の清風館に泊まり、瀬戸内海の絶景、海の幸、お酒を楽しむことも目的の一つであった。

ミカン狩りを終え、T君と友人と3人で、清風館で美味しい酒と料理を堪能した後、T君と別れ、友人より一足先に私が一人エレベーターに乗ると、そこへ山田洋次監督が入って来られた。



世界の病院から 連載121【連載10周年】

Hospitals around the world

台湾の病院見聞記(シーズン2-⑬)

高雄醫學大學附設中和紀念醫院(その11)

高雄醫學大學校史暨醫學人文館②

南台湾での西洋医学黎明期と医療宣教師

The Kaohsiung Medical University Chung-Ho Memorial Hospital(No.11)

Museum of KMU History & Medical Humanity ②

Landing of Western Medicine and Medical Missionaries in Southern Taiwan.



埼玉学園大学
経済経営学部 教授
福永 肇
Hajime Fukunaga

西洋医学が台湾に上陸したのは清(シン)朝末期の19世紀中頃である。1856年のアロー戦争の後の1858年、清は英、仏、露、米の4か国と天津条約を締結した。内容は英仏への賠償金支払いと外国人の中国での旅行・貿易の自由、治外法権、キリスト教布教の自由と宣教師保護、(台湾島の安平と淡水を含む)10港の開港などであった。1860年に打狗(現・高雄)と鵝籠(現・基隆)が追加で開港。すぐさま宣教師の先兵が中国にやって来た。清国福建省の台湾に最初に上陸した宣教師は、英國長老教会のカステアーズ・ダグラス(杜嘉德)で、時は1860年、場所は淡水(タンショウ)であった。宣教師の中には医療宣教師といわれる医師たちがいた。彼らの目的は伝道であったが、医療を布教ツールとして用いた。その結果、これら医療宣教師たちが台湾に西洋医学を導入した、という歴史となった。台湾に最初に来た医療宣教師は1864年渡台のジェームス・レドロー・マックスウェル(馬雅各)である。この1864年から日治が始まる1895年までの31年間に21名の宣教師が台湾に上陸しており、うち8名は医師であった。医療宣教師では台湾北部で布教活動をしたマッカイ(馬偕、偕観理)がとりわけ有名である(写真1)。マッカイは『世界の病院から No.101(FMC NEWS, 2022 March, Vol.15 No.3)』にて既に紹介している。



写真1:マッカイの記念切手(中華郵政、馬偕來臺150週年紀念郵票、2022.3.9発行)。背景は台湾基督長老教会淡水礼拝堂と「滬尾(コビ)偕醫館」(右側の白い建物)。

1895年に台湾は日本国になる。政府(臺灣總督府)は医療提供体制の整備構築を優先的ポイント政策に捉え、アクティブに取り組んだ。具体的には病院開設と医師育成である。国家の医療への重点整備施行に比し、バックに母国の教会があるとは言うものの医療宣教師が個人で行ない得た医療活動や業績は微々たるものであった。しかし台湾の

医学史において医療宣教師の個々人が地域医療に与えた影響は大きく、現在の台湾の人々は医療宣教師たちに大きな歴史的評価を与えている。

■ 西洋医学の台湾上陸(医療宣教師マックスウェルによる開拓)



写真2:医療宣教師マックスウェル(台南の「新樓醫院」院内にある「馬雅各醫學紀念館」の入口に置かれた胸像)

1861年、長崎に「(幕府立)療養所」が開設された。日本最初の近代西洋式病院であった。3年後の1864年、台湾に最初の医療宣教師ジェームス・レドロー・マックスウェル(馬雅各。写真2)が廈門(アモイ)経由でやって来た。彼の「台湾」認識は、清国福建省の島であったろう。彼は台南と打狗(ターカウ。現・高雄)の街を事前調査し、布教開始の地を島で最も賑やかな台南に定めた。翌1865年に安平(アンピン)港に上陸し、台湾最初の医療宣教師かつ台湾最初の外科医になる。パイオニアだ。安平港は台湾港とも呼ばれ、1858年の天津条約で開港された清國の10の港の1つであった。マックスウェルはエジンバラ大学で学んだ医師で、英國長老教会海外伝道会から派遣された。彼は5本の運河で形成された五條港から西方に伸びる看西街に家屋を借り、[チャペル+醫院+薬局]からなる「看西街醫館」(写真3)を開設し、3人の助手(陳子路、吳文水、黃嘉智)と共に布教と医療活動を開始した。診察も薬も無料提供であった。この「看西街醫館」が台湾最初の西洋医学の医療機関になる。醫院はすぐさま評判を得た。しかし地元の漢方医の嫉みを招いてしまい、「この外国人は患者や死体から肝や眼玉を抜いて売薬をつくり、儲ける。それで無料の薬が提供できている」との悪意の誹

謗中傷を受けてしまった。流言飛語に不安を抱いた群衆に診療所は囲まれ、投石によって損壊する。マックスウェルは開院後僅か23日間で台南から撤退、打狗に避難し、英國領事館に保護を求めた。このように黎明期の台湾における西洋医学の受容は決して容易いものではなかった。翌1866年、彼は打狗で二階建ての家屋を借り、チャペルと8床のベッドを持つ病院「旗後醫館(または旗津醫館、打狗醫館)」を開設し、一から出直した。入院病床を持つ医療施設を「ホスピタル」と定義するならば、旗後醫館が台湾最初の西洋式ホスピタルになる。患者も信者も順調に増加した。



写真3:「看西街醫館」。1865年、台南のこのストリートから台湾の近代西洋医療が始まった。写真は戦後の風景のよう見えるが、新樓醫院によると1865年の「看西街醫館」であるそうだ(少し怪しい)。私には家の軒先に置かれたゴミ箱が懐かしい。「湯」という看板は錢湯(湯屋)だろうか。「皮革商」という用語も初めて見た。昔の台湾は鹿皮が特産品で、台湾中部西側の「鹿港(ルーカン)」から世界へ輸出した(新樓醫館馬雅各醫學紀念館の掲示パネルより)。



写真4:台南の太平境馬雅各紀念教会(Tai Peng Keng Maxwell Memorial Church)。1902年設立。マックスウェルが1865年に開設した台南の「看西街醫館」のチャペルを継承する台湾最古の教会。医療宣教師たちの主務は伝道で、医療はあくまで布教のツールであった。

その後、台南の住民も、臓器を盗まれたものは誰もいないことが分かり、マックスウェルを信頼するようになった。彼は1868年に台南に戻り、(看西街ではなく)二老口に診療所「舊樓醫院(二老口

「醫館」を開設し、多くのスタッフを雇って診療と布教を開始した。評判が良くて患者は増加の一途だった。台湾人の近代西洋医学の受容が始まる。医療の流れが大きく変わった。

マックスウェルは1871年に英国に帰国。1883年に再び台湾に来たが、健康問題から翌年、台湾を去った。1895年に日治になる。1921年に召天。マックスウェルが活躍したのは、清国福建省時代の台湾である。台湾における西洋医学の医祖と評してよい医師であろう。舊樓醫院は1899年に移転新築して70床の「新樓醫院」になり、今日に至っている。新樓醫院については、別の機会に紹介したい。

■熱帯医学発祥の地 高雄

19世紀後半、台湾の西洋医学黎明期には、打狗でスコットランド人の医師兄弟が活躍している。兄のデイヴィッド・マンソン(萬大衛)と、弟のパトリック・マンソン(萬巴德)である。なおこの兄弟は医療宣教師ではない。



写真5: パトリック・マンソンの熱帯病研究を紹介する展示パネル(高麗大學醫學人文館)。中央下の建物は1899年創設のロンドン熱帯病研究所。

弟のパトリック(写真5)は1866年に渡台して来て、打狗の旗後にある英國税関の勤務医として働いた。16人の税関職員や在外英國民、その他の人々への診療と気象報告が仕事であった。彼は高雄に滞在した5年間の給与の中から、スコットランドのアバディーン大学での学費(総額70£)を負担してくれた父に返済している。律儀だ。打狗にいた同郷の医師マックスウェルとも面識があった。古代・中世の中国では、南中国にはマラリアなどの風土病を齎す瘴癪(しようえい)の気が立ち込めていたという観念があった。台湾も清朝時代には「瘴癪の地」と言われ、熱帯病、風土病が蔓延する島であった。パトリックは打狗で熱帯病への知見を広め、研究を始めた。やがて清と日本との間で政治的緊張が際立ち始めた。英國領事から清国に親密であるパトリックは台湾から去るようにとの忠告を受け、1871年、福建省の廈門(アモイ)に移住した(従つてパトリックは日治時代の台湾にいた医師ではない)。1892年に香港で「西醫書院(現・香港大學李嘉誠醫學院)」の創設に関わり校長も務める(孫文はこの医

学校の第一回生で、中国人として初めての博士号を取得している)。パトリックは熱帯医学を研究し、ヒトのマラリア症が蚊を媒介して伝染することを発見した(それはマラリア治療へと発展していく)。1899年にイギリスに帰国。同年、ロンドン熱帯医学校(現・ロンドン大学衛生学熱帯医学大学院、London School of Hygiene & Tropical Medicine; LSHTM)を設立し、現在「熱帯医学の父」と敬せられている。大航海時代以降、欧州列国は植民地において風土病対策を行ってきた。しかし熱帯病の本格的な研究はパトリック・マンソンからと理解してよいだろう。以上から「高雄は世界における熱帯病医学研究発祥の地」といってよいと、私は考えている(注:医学史の智見とするには、彼の高雄における研究検証が必要である)。

■慕德醫院

1871年に弟のパトリックが廈門に退去したあと、兄のデイヴィッド・マンソンが税関勤務医の任務を引き継いだ。カナダ長老教会から派遣された医療宣教師マッカイ(写真1)に、1871年12月29日の打狗上陸や、台湾北部の淡水(タンショウ)で布教と診察の仕事を始めることを助言したのはデイヴィッドであった。マッカイの淡水上陸は台湾医学史における重大な事件の一つとなる。デイヴィッドは1878年に福建省福州で客死。その後、打狗旗後税關の勤務医メイヤーズ医師(梅威令または買威令、麥威令)が献金を募り、1881年に旗後山山麓に「慕德醫院(David Manson Memorial Hospital)」を開設。英國の地方病院をモデルに、規模を縮小化した醫院(=病院)だった(写真7)。この醫院は台湾で最初に西洋医学を教えた医学校を附設していた。清朝時代での話である。この史実は記録するに値する(後年、臺灣總督府の教育基準に合わず、医学教育は中止になった)。1895年から日治時代になる。1901年、メイヤーズ医師は台湾を去った。その後、寄附金により教会立醫院として存続、1878年来台のピーター・アンダーソン(安彼得)医師が医業を行ったが、1910年のアンダーソン医師の帰國により病院は療養所と避暑施設へと転換した。1916年に教会立醫院は廃止。これらの話は日本ではまだ知られていないと思われる。以上の私の歴史把握は、正直なところ少し心配ではあるが、大きな誤りはないと思う。

実は慕德醫院を開設したのはメイヤーズ医師であったという事実が判明できるまで、パトリックが税関建物内に醫院を開設したのか? そうだとするとそれは何時なのか? と、慕德醫院に関しては長い間、茫然たる状態であった。「慕德醫院」の「慕」の字は「記念(紀念、memorial)」の意味であろう。しかし「德」は、兄の萬大衛の「衛」ではなく、なぜ弟の萬巴德の「德」の文字になっているのだろうか(ここ、私は未だに全く分からぬ)。

高雄醫學大學校史暨醫學人文館には「慕德醫院(1881年開設)」を博物館内に実物大で復元展示(器物は現物)しており、観覧者を19世紀後半の高雄の医療現場に連れていく。慕德醫院を写真6~10で案内したい。台湾の西洋医学黎明期の病院だ。

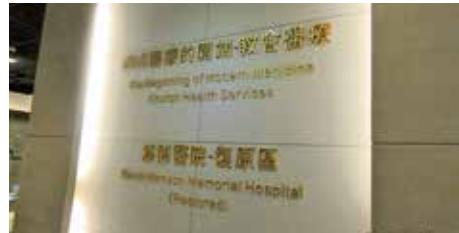


写真6: 台湾での西洋式医学黎明期と慕德醫院(レプリカ)を展示するコーナー。博物館内の解説は漢字と英語の併記なので日本人にはよく理解できる。これは嬉しい。



写真7: 旗後山山麓の慕德醫院。台湾で最初の西洋医学教育が行われた。



写真8: 1881年開設の「慕德醫院」の薬局(左側)と掛號(受付・会計:右側)の窓口。19世紀末の台湾の西洋式病院は既にこのような病院システムになっていた。



写真9: カルテ庫

写真9は写真8の病院受付の内側。当時すでに診療録があり、診療録は分類整理されてカルテ庫に収納されていたことが分かる。蛇足だが、前200年ごろの中国では診療録を「醫案」といっていたようだ。



写真10: 1881年開設の「慕德醫院」の診察室(復元)。

(次回に続く)

医療連携支援センター 通信 No.54

11月は『児童虐待防止月間』 みんなで虐待防止に取り組みましょう

FMC Newsをご覧の皆さん、そして医療連携支援センター通信を楽しみにして頂いている皆さん、Writerの木梨です。FMC Newsに帰ってきましたよ。しばらくぶりの投稿にややキンチョーしています。

気が付けば、あっという間に11月になっていました。暦の上では立冬を迎えてますが、未だに「夏日」って言葉をよく耳にしますし、最近は朝晩が少し冷えてきていますが、まだまだ日中は暑さを感じますし、このまま秋を通り過ぎて冬を迎えるのかもって少し寂しさを感じています。それに感染症の時期も早まっているようで、全国でインフルエンザが猛威を奮っています。これからの季節はより感染症にかかりやすい季節にもなるはずなので、感染予防対策(手洗い・うがい)を続けていきましょう。

さて、久しぶりの「医療連携支援センター通信」に何を書こうかと考え、11月は厚生労働省が「児童虐待防止推進月間」と定め、こども家庭庁が「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施していることもあり、当院での虐待対策等を報告したいと思います。

ところでFMC Newsをご覧になっている皆さん、全国で児童虐待がどれくらい報告されているかご存知でしょうか?令和4年度中に全国の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数が219,170件(速報値)と報告し過去最多となっています。(この内広島県は3131件)そして、虐待相談の内訳としては、心理的虐待59.1%、次いで身体的虐待23.6%となっています。児童虐待相談は年々増加していますが、特にコロナ禍となった令和元年度から急激に増えているように思います。

※児童虐待は、身体的虐待・ネグレクト・性的虐待・心理的虐待の4つに分類され定義されています。

『児童虐待かもと思ったら… 189(いちはやく)へ連絡を』

こどもは「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。こどもの健やかな成長に影響を及ぼす児童虐待の防止は社会全体



地域医療連携部長 主任医療社会事業専門員
豊川 達也 木梨 貴博

で取り組むべき重要な課題です。(参照:こども家庭庁ホームページ)

何かしらの支援を必要としている家庭、こども、保護者を可能な限り早期に把握し児童相談所や行政を始めとする支援機関へ繋ぎ、こどもにとって適切な環境、健やかな成長や発達が保障されることが重要であり、当院においてもその一助となれることを目指し虐待対策に取り組んでいます。当院の虐待対策は、平成28年から取り組んでいます。児童虐待だけでなく、高齢者虐待、障害者虐待、DV(ドメスティックバイオレンス)が疑われる方が受診・入院した場合に、当該患児(患者)が置かれている状況を把握し、権利侵害や置かれている環境が当該患児(患者)にとって不適切ではないか等を確認し、当該患者(患児)を守るべく関係機関と早期に連携しています。(児童虐待の場合:児童相談所、高齢者虐待の場合:市町村担当 等)

関係機関と連携する目的は、当該患児(患者)の権利を守り、1日でも早く適切な環境になれるように支援することです。決して虐待者を責めたり、問い合わせたりすることではありません。虐待者の背景や生活環境等に課題が重複し1人で解決することが困難なことがあります。抱えている課題解決に向け、関係機関と早期に連携し、当該患児(患者)の生活環境が安心・安全に、そして適切な環境となることを目指しています。

当院の虐待対策の実績は、令和4年度 39件(入院16件 外来23件)です。その内最多が小児科で、入院・外来共に50%以上を占めています。そして連携先としては児童相談所が最多です。そして、保健師、市町の子育て支援担当課と続きます。これらの関係機関と共にこどもを守り、保護者を支援しています。

今年度の「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」にもあるように『こどもを虐待から守るために理由はいりません』そして『児童虐待は社会全体で解決していく問題です』

今後も虐待対策に取り組み、関係機関と共に当該患児(患者)を守り、誰もが持っている権利を擁護し、当該患児(患者)が当たり前に過ごすことができるよう支援していきたいと考えています。 ではまた。





治験にご協力をおねがいします



潰瘍性大腸炎（UC）の
新たな治療への道を
共に歩みましょう



潰瘍性大腸炎を患う人々を対象とした治験治療を評価するこの治験に参加しましょう

ABTECT-2試験では、被験薬の安全性と、潰瘍性大腸炎の患者様の症状を軽減するかどうかを調べています。

年齢、性別、ジェンダー、人種や民族によって潰瘍性大腸炎と薬剤の影響が異なる可能性があるため、幅広い被験者の登録を予定しています。

あなた、またはあなたが介護をされている方が以下の条件を満たしている場合、参加いただける可能性があります。

- 年齢が16歳以上の方
- 潰瘍性大腸炎と診断されている方
- 他の、または過去に服用した潰瘍性大腸炎の薬剤に対し、反応の不足、欠落、または消失が認められた方。



お問い合わせ先

ABTECT-2試験に関する詳細については、以下までお問い合わせください：



ーお問い合わせ先ー

福山医療センター 内科・消化器内科

連絡先(代表): 084-922-0001

相談窓口 治験管理室



経営企画係
中島 正勝

久しぶりの東北ツーリングは雨で始まった話(後半)

突然だけど、Insta360 X3をバイクから落下させちゃいました。しかも高速道路で。レンズ・本体を含め全損の状態だったけど、ダメ元で修理に出したらなんと新品交換で戻ってきてビックリ。しかも、保険が適用されたので実質3千円で付属品も新品になつたおまけ付き。ホント助かったよ。って事で、今月号は「東北ツーリング」後半だよ。

1. 四日目(9/30)

宿泊先の七味温泉「紅葉館」で朝風呂(野天風呂)を堪能して9時頃に出発。気持ちの良い晴天だ。今日は世界遺産『富岡製糸場』を見学、その後、山梨県甲府市の勝沼ぶどうの丘にある「地下ワインカーヴ」でワインの試飲を楽しむ予定だ。

1)世界遺産 富岡製糸場

明治初頭より製糸業が衰退化する昭和初期まで「生糸」は我が国最大の輸出品であり日本経済を支えた一大産業だったのは日本史で教わったけど、開国当時の生糸は主要な輸出品だったにも関わらず粗製濫造の横行によって国際的評価を落としてたんだって。その対策として、国内初となる官営(国営)の西洋式機械化導入製糸工場として、群馬県富岡市に(当時としては)世界最大級の「富岡製糸場」が誕生したらしい。なお、山本茂実著「あゝ野麦峠」に出てくる舞台は、長野県の諏訪、岡谷市にあった製糸工場でありココでは無いので念のため。

ところで、マサカツくんの(製糸工場で働く)工女のイメージは「あゝ野麦峠」で観た(読んだ)印象が強く、気温40度の過酷な労働環境、1日15時間にも及ぶ労働時間、劣悪な感染症対策や公衆衛生、社会保障等は無いに等しい福祉事情と最悪だったんだけど、富岡製糸場を見学して知ったのは、この労働事情は当時としては先進的な七曜



四日目-1 世界遺産 富岡製糸場

制の導入と日曜休み、年末年始と夏期の10日ずつの休暇、1日8時間程度の労働時間、食費・寮費・医療費などは工場持ち、制服も貸与、工女余暇学校も設置されるなど当時としては破格ともいえる労働条件だった様だ。一方で、官営ならではの厳しい規律や作業場内の騒音などは若い工女たちにとって相当なストレスだったらしく、満期(1年から3年)を迎えて退職する者も多かったようだが、それでも「あゝ野麦峠」の舞台とは天地なんだよなあ。

2)甲府市 勝沼ぶどうの丘

まずは「勝沼ぶどう郷ユースホステル」にチェックイン。ここは、小高いぶどう畑にあるユースでリーズナブル、しかも近くであれば送迎してくれる。それを見越して、今晩の予定は「勝沼ぶどうの丘」にある「天空の湯」で汗を流し、「地下ワインカーヴ」で飲んだくれ、「展望ワインレストラン」でディナーだ。さて、この地下ワインカーヴだけ2,200円で100種類以上のワインを好きなだけ試飲出来る。ただし、3,000円を超えるワインは別料金となるので念のため。入場したのが16時前だったので閉店(17:30)迄に堪能出来るか?と心配したけど、いや~結構飲んだわ。こんなにワインを飲んだのは初めてかも。

夕食は展望ワインレストランでコース料理だったけど、流石にワインは飽きたのでビールを頂いてしまった。ここは景色もサイコーでお財布に優しいレストランだった。



四日目-2 勝沼 ぶどうの丘

2. 五日目(10/1)

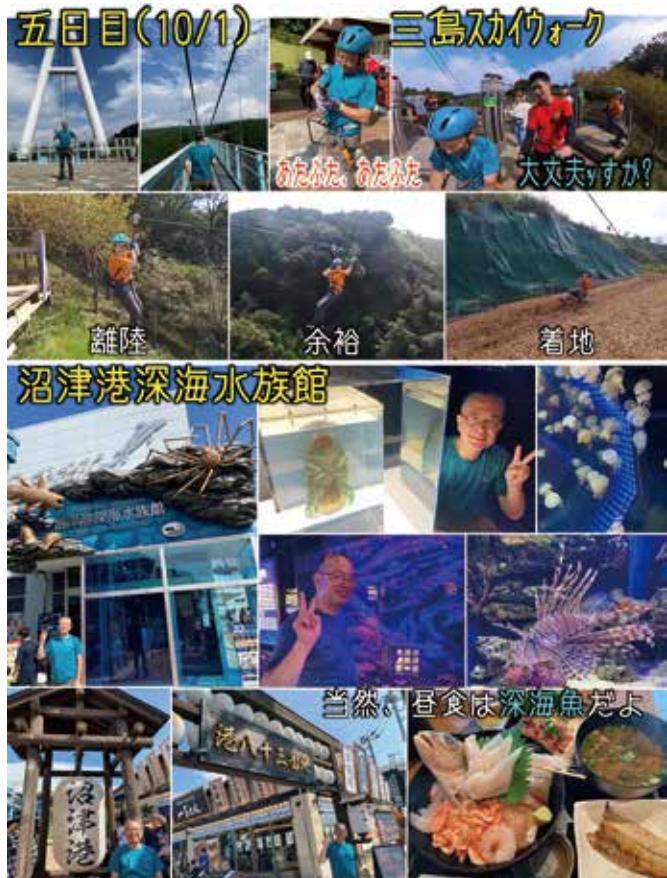
今日はね、朝一で「三島スカイウォーク(日本最長400mの人道吊橋)」から富士山を眺め、そっから沼津港に寄って「深海水族館」見学と深海魚のランチ、「箱根駅伝5区」をバイクで走って、「山中湖」にあるペンションで友人夫妻と待ち合わせの予定なのだ。

1)三島スカイウォーク

この日は日曜日、当然混雑するだろうから開園直後の入場を目指して早めの出発。開園(9:00)に遅れること15分で何とか到着、駐輪場へバイクを停めジャケットを脱いでたら(バイクは)満車となった。さて、天気は良かったけど肝心の富士山は残念ながら雲の中、まあ、こんなもんだよね。話の種にスカイウォークを往復しようって事で対岸に渡ると「ロングジップスライド(滑車のロープウェイみたいな奴)」の案内が。いや、マサカツくん高所恐怖症なんだけど嫁さんはやる気満々。そういう訳で、鷲羽山のバンジージャンプも躊躇無く飛んでたもんなあ~この人。って事で空中散歩を体験したけど、マサカツくんは始終ビビりまくって係員さんに迷惑をかけましたとさ。

2)沼津港 深海水族館

沼津港には15年以上前に来たことあったけど、当時とは全くの別物になってた。「深海水族館」が新しく出来たのは(嫁さん情報で)知ってたけど、港八十三番地とかいう複合観光施設や色々なお店が出来ててホント驚いたよ。あの頃は干物屋さんが数軒あつただけだったんだけどね。んで、深海水族館は大人気のよう(かなり)並んだけど、結果的に大変楽しめました。その後、良い時間になったので深海魚のランチを頂い



五日目-1 三島スカイウォークと深海水族館

たけど、これも大変美味しゅうございましたよ。

3)箱根駅伝5区を走る(ただしバイクで)

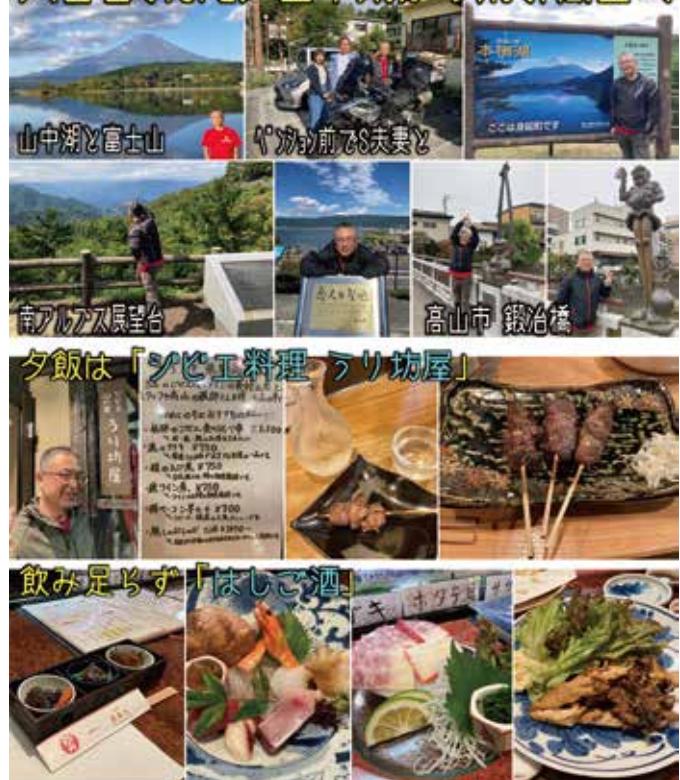
何時かはテレビでは無くこの眼で見てみたい「箱根駅伝」。出来る事ならコース上有る宿に泊まって応援するのが夢だ。え、行けば良いじゃんかだって?いや~、色々と夢が多すぎて箱根駅伝は順番待ちの状態なんすわ。って事で、今回は嫁さんたっての希望で「箱根駅伝5区」を走る事になった。当然、自分の足では無理なのでバイクだったのは言うまでも無いよね。ところで、テレビの映像を想い出しながら走ったんだけど、うん、なんて言うんだろう「何かが違う」んだよ。我武者羅に走る選手を観てるのと、バイクで単にコースを走るのとでは。って事で、やっぱ箱根駅伝は観て応援するのが正しい。

さて、この日は富士山観光に来ている友人夫妻と(日程を合わせ)山中湖の宿で飲み会をする事になっているのだが、ゴールの芦ノ湖に到着した時点で時計の針は16時をまわっていた。残念ながら「芦ノ湖」には寄ることが出来ず、途中の「道の駅 箱根峠」から眺めるだけになってしまったが、まあ、箱根駅伝を見に行くときの楽しみに取っときましょうかね。

3.六日目(10/2)

友人夫妻と別れ、今日は最後の宿泊地「高山市」を目指す。朝食前に山中湖畔に出でみると雲が架っていない富士山を(今回初めて)観ることが出来たが、出発時には気温も上がり再び全体が雲に覆われてしまっていた。途中、期待して寄った本栖湖(千円札)からも富士山は見えなかった。ところで、最後の宿泊地を高山市に決めたのは昨日だ。何で?かと言うと、5日目(昨日)が日曜日だったので、渋滞などで予定したコースを逃れなかった場合の保険が6日目だったんだよ。要するに沼津か箱根のどちらかが時間的に無理だった場合は今日の午前中に寄ることにして、そっからの移動時間で(最後の)宿を決める予定だったって訳さ。結局、予定どおりに進んだので、第一候補だった飛騨高山の「ジビエ料理」で一杯やる事に落ち着いたんだけど、う~ん、ジビエ料理はとっても美味しいんだけど、昨日も一昨日も夕食は「肉」メインだったと言うか、3日目以外は全部肉だったことに気が付いたんだよね。って事もあり~での「魚料理」がむちゃくちゃ恋しくなって、山の中の高山でそれ(魚)を求めて「はしご酒」になっちゃいましたとさ。いや、美味しいから良いんだけどね。

六日目(10/2) 山中湖から飛騨高山へ



六日目 山中湖から飛騨高山へ

4.終わりに

実は、東北ツーリングの翌週には山口県の萩に一泊、その一週間後には九重と別府に二泊三日のツーリングと、秋を満喫しているマサカツくんであった。



五日目-2 箱根駅伝5区を走る

Design
#82

「伝わるデザイン」

III MOURI DESIGN

毛利 裕規 / グラフィックデザイナー
【Profile】大阪、東京のデザイン事務所勤務を経て、2011年に独立。福山市を拠点に、全国の企業やお店、ブランドなどのロゴマーク制作と、それに伴うブランディングやブランド戦略、プロモーション等を専門に手がけています。



みなさまこんにちは。グラフィックデザイナーの毛利と申します。私は福山市を拠点に、全国の様々な分野のデザインを手がけさせていただいている。そんな中でも最も多く手がけているのは、企業やお店、ブランドなどの立ち上げやロゴマーク制作からたずさわるような「ブランディングデザイン」です。私が手がけた仕事等を通じて、デザインやブランディング、ブランド戦略、プロモーションの大切さや効果などをお伝えしていきます。

BOOK →



TYME →



glasses →



Balloon →



CAMP →



MOON →



「絵」と「文字」を組み合わせて伝える

上に載せているデザインは、専門用語で「タイポグラフィ」というものです。簡単に説明すると、絵と文字を組み合わせて情報を伝える「文字デザイン」のこと。まず絵で情報を感覚的に認識させ、文字としても認識されることで、その伝わる精度を高めています。さらに、そこにユーモアや知性を感じさせることで、より伝わりやすくなります。

すぐ、記憶にも残りやすくすることができます。「絵」と「文字」を組み合わせて伝えること、これは私たちの普段の生活や仕事でもとても大切なことです。写真と文字、イラストと文字など、絵的なものと文字を組み合わせて丁寧に伝えることで、伝え間違いや思い違い、解釈の違いなどをかなり減らすことができます。

連載

No.114

事務部だより

『芸術の秋』

企画課契約係長
金子 聖



11月は秋真っ盛りですね。秋といえば、「芸術」の秋かなあと私は思います。

当院には、職員があつまって楽器を演奏するイベントがあるのですが、9月に行われたそのイベントに私は初参加し、トーンチャイムという楽器を使って演奏をしました。トーンチャイムは、金属のパイプに、パイプを叩くバーツがくつついていて、片手で持って振ると音が出ます。トーンチャイム1個で1音鳴らせるので、ひとり同時に鳴らせる音は2音までです。両手に持ってひとりで音を出してもメロディにはなりませんが、譜面に沿ってみんなでタイミングを合わせて音を鳴らすときれいな和音になって、それをつなげていくとメロディになります。なんとなく参加したイベントでしたが、トーンチャイムを使い、みんなで協力して音楽を生み出すたのしさを知ることができました。私は4月に福山の街に引っ越してからは、おいしいパンを買って食べたり、新しいスニーカーを買ったり、お金を払ってなにかを得るという消費活動しかしていなかったですが、自分でなにかを生み出したり、表現したりするのもいいなと思います。今、ひそかに創作意欲が湧いています。

そういう気持ちの変化があり、ちょうどFMCニュースの記事を書くタイミングだったので、なにか絵を描いて記事に載せようと思いました。私は絵手紙を描いていたことがあるので、画材をクローゼットからひっぱり出して、ひさしぶりに絵手紙を描いてみました。絵手紙は、描いた絵に言葉を添えて、最後にはんこを押せばできあがりです。気温の変化に気づいて

「秋だなあ」と頭で思ったことをそのまま言葉にして、秋のイメージがあるリスとどんぐりの絵を描いただけですが、最後にはんこを押すと全体的に締まって見えるのが絵手紙のポイントです。あと、なんでも自由に描いていいよ、上手い・下手とかなくて描いたものが味があるんだよ、というのが絵手紙のスタンスなので、芸術の秋だからとなにか気軽に始められるを探している方には、絵手紙を描くことをおすすめしたいです。

ちなみに、これからは時期は広島県内で絵手紙の展示を観ることができます。熊野町の「筆の里工房」という施設では、絵手紙の大会を毎年行っており、応募のあった作品を11月から施設内に展示しています。度々か行なったことがあります。全国の幅広い年代の方々が描いた作品が多数展示されており、絵手紙に描かれている作者の経験や気持ちなども様々でおもしろいです。題材が似ていても、見ているものの画の切りとり方とか、表現の仕方が人によってちがうのも、味があるからいいんだと改めて思います。また、作品の中には作者のつらい気持ちが描かれているものもありますが、ネガティブなことも作品に昇華できるのが絵手紙に限らず芸術のすごいところです。社会に居るといつ感情を抑圧してしまうことがあります。絵手紙になにかを描くときと同じように、なんでも自由に思っていいよ、いいとか悪いとかなくて思ったことに価値があるんだよ、と自分をよしよししてあげたくなるし、なにか抱えている人にもそうしてあげたい気持ちになります。

…とかとか、考えすぎかもしれないですが、芸術に触れることは自分のこころの深さを知るきっかけにもなります。過ごしやすい気候のなかではいろいろと集中して考えることができるので、やっぱり、秋は芸術に最適な季節だと思います。





J.S.A. ソムリエ

日本酒の
ソムリエ 喰酒師

SSI 認定 国際喰酒師

No.29

SSI認定国際喰酒師
J.S.A.ソムリエ

宮岡 瞳

SAKE Freak

【人生いろいろ】

皆さま、こんにちは。ソムリエ・国際喰酒師の宮岡です。

私が、3年間酒蔵で勉強させていたいた経験があるという事をご存じなお客様には、「ソムリエって、あのソムリエですか?」と言われる事が多い。「そうです、そのソムリエです。ワインです。田崎真也さんです。」と、単語でポンポンとお伝えする。意外かもしれないが喰酒師とソムリエ、両方の資格を持っている方は多いと思う。2013年に受けた喰酒師の試験前講習で、隣になったお姉さんも「ソムリエを取ったから、次は喰酒師かなっていう感じ。」と頻々と話していた。「そもそもワイン興味ないし、ソムリエなんて一生かすりもしないだろうな。」と、その時の私は思った。が、結果これである。

酒蔵で勉強したいと思ったのは、喰酒師の資格を取得したけれど、職場でうまく活用出来なくて悩んでいたから。すると偶然、蔵元杜氏(社長兼お酒を造る人)と知り合い、働く事がトントン拍子で決まっていた。当時働いていた飲食店のオーナーに「店を辞めてでも、酒蔵行きます。」と大啖呵を切った。「お前はソムリエの資格を取ったら、ワイナリーに行くって言うんか?そんなフランクしようて良いんか?」とオーナーも譲らない。後日、お互い冷静になって話し合って、飲食店と酒蔵、両立しながら働けるようにしていった

だいたい。その時、意見が分かれて、お店を辞めていたら、完全に本来の目的を失って、今でも酒蔵で働いていたかもしれない。ちなみに「フランクしようて良いんか?」に対しての返事は、「ワインに興味ないし、第一、ソムリエの資格は難易度が高くて取れません!」。人生何があるのか分からない。



左が見本、右は宮岡作。何とも味がある不細工な出来。

歯科衛生士の見学実習開催!

今年度より新たな取り組みとして、歯科衛生士の見学実習を開催しています。第1回は夏に開催し、とても好評だったので、この度第2回目を開催する運びとなりました。

歯科衛生士の就業場所は9割が一般歯科医院となっております(平成28年実態調査より)。病院で働く歯科衛生士は全国的にも非常に少ないため、とても貴重な経験になると思います。また、今後必要とされる歯科衛生士は、口を診るだけではなく、全身と関連して評価ができ、歯科衛生過程に沿って介入ができる専門職です。さらに多職種と一緒に働く充実もやりがいを感じもらえると思います。

歯科衛生士学生の方も現在歯科衛生士として勤務している方もそうでない方も、興味のある方は是非、案内のQRコードよりお申込みください!たくさんのご参加お待ちしております!

お問い合わせ先

電話:(084)922-0001(代表)

歯科衛生士までご連絡ください

メール:kurokawa.mai.sd@mail.hosp.go.jp

担当 歯科衛生士 山脇

申込はこちら▶
福山医療センター歯科衛生室



歯科衛生士 病院見学会

歯科非標榜の急性病院での、歯科衛生士の業務を見学してみませんか?

周術期口腔機能管理の指導、口腔衛生管理、摂食嚥下に関わること、他職種連携など普段実際に実施している歯科衛生士業務をお見せします

対象:歯科衛生学生

期間:令和5年12/26(火)~12/28(木)

時間:9:30~15:30

時間帯は相談可能(お問い合わせ先までご連絡ください)

定員:各日5名

定員になり次第締め切らせていただきます

締め切り:令和5年12/19(火)正午まで

持ち物:白衣、シューズ

- ・昼食は各自ご準備ください

- ・駐車場は当院駐車場をご使用ください



ビタミンACEをそろえて食べよう ～小松菜ピーナッツマヨ和え～



栄養士 板谷 恵美

だんだんと寒さが厳しくなってきました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

冬に旬を迎える野菜の1つに小松菜があります。最近ではハウス栽培が多く、1年中出回っていますが、旬は冬です。冬の寒さにさらして栽培された「ちぢみ小松菜」もあります。小松菜はカルシウム、ビタミンA・Cを含んでいます。

今回は小松菜ピーナッツマヨ和えを紹介します。ピーナッツを事前に炒ると風味が増して美味しくできます。「ビタミンA・C・

E(ビタミンエース)」を聞いたことはありますか?ビタミンAは鼻やのどの粘膜を丈夫に、ビタミンCは免疫力を高め、ビタミンEは抗酸化作用が高いという特徴があります。3つをそろえて食べることで理想的なビタミンの摂取ができます。ビタミンA・C・Eをそろえるコツは新鮮な緑黄色野菜+ナッツ類を合わせることです。今回の小松菜ピーナッツマヨ和えもビタミンA・C・Eが揃っています。ぜひ作ってみてください。

小松菜ピーナッツマヨ和え(2人分)



材 料

*小松菜	100g(2束分)
*塩	少々
*ピーナッツ	10g(15粒程度)
*ピーナッツバター	2g
*マヨネーズ	4g
*砂糖	1g
*白みそ	2g

栄養価(1人分)	
エ ネ ル ギ ー	113kcal
た ん ば ク 質	4.1g
脂 質	9.0g
炭 水 化 物	5.6g
食 塩 相 当 量	0.41g

A

作り方

- ① 小松菜を茹で水気を切り4cm程度に切る。
- ② ピーナッツをフライパンで炒った後、小さく碎く。
- ③ 2に(A)を加えよく混ぜ、1と和える。



ススキ(すすき(薄)をばな<尾花>・かや<草>)

巻10-2277



「歌の大意」

さを牡鹿の 入野のすすき
初尾花 何時しか妹が
手を枕かむ

牡鹿のわけ入る、入野のすすきの
初尾花をいつかと待つやうに、
いつか早く妹が手を手枕にしたいものだ。

万葉植物考

萬葉表記： 為酢寸・須為寸・須珠寸・為為寸・須酒伎・須須吉・芒(のぎ)・(をばな<尾花>)・かや<草>
イネ科 ススキ属。ススキは日本各地、および南千島、朝鮮、中国の温帯から暖帯に分布、全国の山野のいたる所に生える多年草。根茎は短く、束生、高さ1~1.5m。オギによく似ています、オギとススキを混同している人がいますが万葉人は(卷十-2134)(アシ)と(オギ)とをはっきり区別しています。生態的にはススキは乾燥地に生えるのに対して、オギは川、池、沼などの周辺の湿地に生えます。ススキはまとまって株状に叢生(そうせい)し、オギは一本ずつ生えます。これはススキの地下茎は短く、多脚的に分枝します。オギは原野の水辺など湿地には生える多年草。オギの地下茎は縦横に伸びその末端から稈(かん)を出すためです。茎は高さ2m位、花時によく茎の下部が露出するのでススキと区別できます。葉は最長大で幅25mm以上。葉での区別はススキは葉鞘(ようしょう)だけに長い毛がありますがオギは鞘面にもこれがあります。花穂(かほ)での区別は、ススキのエイ果には長さ5~7mmの一本の長いソギ(芒)がありますがオギにはこれはありません。薄を中国語で芒草 máng cǎo と言います。歌意は「牡鹿が深く分け入る、野の初々しい(おばな)よ。いつあの初々しい彼女と手枕を交し合って寝られるのでしょうか。」の意です。花穂のあたたかくやわらかな様子は、最高の秋らしい美感を見出します。花穂の開ききったものを尾花といい、開かないものを薄(すすき)といいます。さらに茅の三つの違う名前で呼んでいたようです。集中、「薄」が十七首芒、須為寸、須須伎、須酒吉、須珠寸、須酒伎、為酢寸、為為寸などのように書かれ、「尾花」が十九首で尾花、乎花、草花、麻花、乎婆奈など、さらに「茅」と読むのが十首で草、我夜の文字が充てられています。ススキは屋根葦(ふき)用の他、炭俵、簾、串、紙の原料などに使用。根茎は利尿剤として薬用にもされました。



2277. In Irino Plain⁽¹⁾
Where is living a young deer,
The pampas-grass grows;
Like the first flowers of it
Oh, when can I embrace her?
(1) Ueba-Machi, Oharano, Ukyo-Ward, Kyoto City

左 小 牡 鹿 之 入 野 乃 爲 酢 寸
サ ヲ オ ハ ツ オ パ ナ イ リ
初 尾 花 何 時 加 妹 之 手 將 枕
ハ ツ オ バ ナ イ ツ シ カ マ ク ラ カ ム
さを! うの、まぬのをき、をばな、をばまい、アモリ、うたまく、をせん

さくしや
ふじょう
作者不詳



音楽カフェの風景 その7!

内科 村上 敬子

特別寄稿 第3回 大田記念病院 脳神経外科専任部長 佐藤倫由

音楽で世界旅行!



皆さん、“世界名作劇場”をご存知ですか？日曜日の夜、番組が始まると兄妹そろってテレビに見入っていたことを思い出します。『フランダースの犬』『小公女セーラ』など数々の名作が放送され、年を経ても当時の感動は色あせることなく心に残っています。この番組がきっかけとなり、幼少期に外国に対する強い憧れが芽生えました。ということで今回は、“音楽で世界旅行”と題して、日本にいながら世界を感じられる音楽について考察したいと思います。

『アルプスの少女ハイジ』では、アルムおんじが暖炉で作る料理にも興味津々でしたが、主題歌の導入部、アルパインホルンでアルプスに朝日が昇り、続くヨーデルでハイジやペーターとダンスをしている気分になりました。『母を訪ねて三千里』では、南米の民族楽器チャランゴや縦笛ケーナのメロディーがアンデスの異国情緒を醸し出し、待ち受ける困難と期待を感じさせます。『赤毛のアン』では、子供向け番組としては異例のクラシック作曲家・三善晃氏による楽曲が使われました。オープニングで木漏れ日の中を馬車が駆け抜けていくシーンは、オーケストラと歌声が競い合いながら進んでいく名曲で、初めて聴いた時、これがアニメの曲かと驚かされました。エンディング曲の“さめない夢”は、カナダ・プリンスエドワード島の広大な自然と繊細な美しさが巧みに表現されています。ちなみにこれら3作品の監督は高畠勲、画面構成が宮崎駿という黄金コンビによるものです！また、フィンランドが舞台の『牧場の少女カトリ』では、国民的作曲家のシベリウスの“フィンランディア”や“カレリア組曲”がBGMとして使われました。

国ごとに言葉や料理があるように、音楽にもお国柄があります。最近足を運んだコンサートでも、世界を感じることができました。ふくやま芸術文化ホール リーデンローズの小ホールで開かれたソプラノ歌手、小林沙羅さんのコンサートです。ピアノ伴奏の第一人者、河原忠之氏との共演で、福山にちなんで薔薇にまつわる楽曲を集めた粋なプログラムでした。英語によるブリテン編曲の“夏の名残のバラ”、ドイツ

語によるシューベルトの“野ばら”、日本語による山田耕作の“ばらの花に心をこめて”、フランス語によるフォーレの“イスファハンの薔薇”、イタリア語によるトスティの“薔薇”、アンコールは加藤登紀子さんの“百万本の薔薇”(旧ソビエトのラトビアで作られヒットし、ソ連・東欧の民主化の前奏曲となつた)で、言語ごとの発声やニュアンスを巧みに表現されました。それぞれの国で育まれた言葉が、それぞれの国の作曲家のメロディーに乗って、声という楽器を通して聴衆の耳と心に届けられると、座席に居ながら世界旅行を楽しむことが出来ました。

コンサートの中で、演者のお二人がホールの音響について「東京でもなかなかないほどの素晴らしい響き！」と話をされました。このホールは福山出身の世界的な音響設計者である豊田泰久氏による設計です。音響業界で、“トヨタ”といえば自動車ではなく彼を指すそうで、東京で最初のコンサート専用のサントリーホールや、ロサンゼルスのウォルト・ディズニー・コンサートホールほか多数のプロジェクトを手掛けられます。ちなみに小ホールは、「300席で聴く贅沢」というキャッチコピーのとおり、直接音と壁に反射した間接音が柔らかく融合し、音に包まれている感覚覚えます。音が耳を通して脳に直接吸い込まれるようなイメージで、演奏後の余韻に集中している瞬間は至福の時です。

さて、3回に分けて“言葉と音楽”についてお話ししてきました。芸術の秋から年越しには多くのコンサートが開催されますので、ぜひ足を運んで生の音に宿るパワーを感じて束の間の世界旅行を楽しんでいただきたいと思います。
Bon voyage!





一枚の絵 No.132
yukimitsu sanayasu の
ぶらり旅日記



さな やす ゆき みつ
真 安 幸 光 氏

鬼女台(きめんだい)から大山鳥ヶ山(からすがせん)を臨む
島取県と岡山県の県境に位置する鬼女台展望休憩所から北に雄大にそびえる鳥取県の名峰・大山鳥ヶ山を臨みます。秋の楽しみは色鮮やかな紅葉もありますが、夜明けの寒暖差が増す時間の蒜山三座より上る朝日と蒜山高原を包む雲海とのコントラストが絶景ポイントとしてお薦めです。

ひまわりサロンミニレクチャー

2024年2月13日(火) 15時から16時頃まで	抗癌剤の副作用対策 質問や参加者様同士の座談	薬剤師	福山医療センター 4階小研修室1、2
2024年6月11日(火) 15時から16時頃まで	痛み止めのお薬について 質問や参加者様同士の座談	医師もしくは 認定看護師	福山医療センター 4階小研修室1、2

※令和5年度ひまわりサロンは感染防止に十分注意して対面で開催いたします。

※費用:無料 預約:不要 ※どなたでも気軽にご参加下さい。



音楽カフェ



音楽カフェ、ときめきコンサート、カフェコンサートは開催を見合わせています。本イベントの開催を楽しみにしてくださっていた皆様にはたいへん申し訳ございません。再開の日程が決まりましたら院内掲示、当院ホームページでお知らせします。

お知らせ 研修会・オープンカンファレンス

オープンカンファレンス

現在予定はありません。今後、開催日が決まりましたら当院ホームページにて改めてお知らせします。

市民公開講座2024『泌尿器がんのすべて』

【特別講師】 広島大学 腎泌尿器科学 教授 日向 信之 先生
 【日 時】 2024年2月3日(土) 受付12:30~ 講演13:00~15:15
 【場 所】 国立病院機構福山医療センター
 4階 大研修室
 【定 員】 200名

STAFF	publisher 稲垣 優 chief editor 大塚 真哉	岡本 隆志
【センター】		
臨床研究部 梶川 隆	憩者入院支援管理センター 山本 暖	診療放射線科 古志 和信
救急医療部 徳永 尚之	医療連携支援センター 豊川 達也	臨床検査科 有江 潤子
がん診療部 三好 和也	小児医療センター 荒木 徹	リハビリテーション科 片岡 靖雄
教育研修部 豊川 達也	新生児センター 岩瀬 瑞恵	
治験管理部 大塚 真哉	内視鏡センター 豊川 達也	栄養管理室 藤原 朝子
医師業務支援部 常光 洋輔	外来化学療法センター 岡田 俊明	医療安全管理室 大塚 真哉
広報部 大塚 真哉	慢刊リハビリテーションセンター 廣田 稔	宮本 慶克
感染制御部 齊藤 誠司	脊椎・人工関節センター 甲斐 信生	経営企画室 重松 研二
国際支援部 堀井城一朗	頭頸部・腫瘍センター 中谷 宏章	がん相談支援室 藤田 純生
ワークバランス部 岩瀬 瑞恵	低侵襲治療センター 大塚 真哉	歯科衛生士室 藤原 千尋
緩和ケア部 高橋 健司	エイズ治療センター 齊藤 誠司	ME室 西原 博政
薬剤部 高橋 洋子	画像センター 道家 哲哉	診療情報管理室 峯松 佑典
看護部 明野 恵子	がんゲム医療センター 三好 和也	
集中治療部 友塚 直人		【医局】 医局 野間 康宏

FMC NEWS

VOL.16 2023
NOVEMBER

編集後記

11月の編集後記を担当致しますリハビリテーション科士長の平野と申します。

昨年の4月に当院に異動となり、福山で単身赴任の生活が1年半を過ぎました。

記事の内容は近況などでも良いということでしたので、私の単身赴任中の生活を綴ろうと思います(島根県にいる妻がこの紙面を手に取らないと信じて)。

現在、島根県松江市に家族を残し、福山で単身赴任となっている私ですが、大学卒業までは広島市に住んでおりました。そのため、大のカープファン!島根ではカープの中継は稀でしたが、ここではほぼ毎試合カープの試合をテレビで観戦することができます。そのような幸せな状況の中、カープの中継観たさに、確実に残業は減っています。

また折角、福山に来たからにはと、週末は観光やレジャーも楽しんでいます。鞆の浦や良(うしとら)神社などの神社仏閣巡り、蔵王山や切石山に登ったり、少し足を運んでしまなみ海道サイクリング往復(140km!?)や四国名峰石鎧山の冬山登山なども体験し、とても良い気分転換を図ることができます。リハ室から見える山の上の建造物を患者さんに何の建物か聞かれることがあって、休日散策に行くと展望台と判明しました。芦田川や福山市内の眺望が楽しめ、展望台からの山道は明王院にもつながっていて、思わぬ発見になりました。

このように絶賛単身赴任中の私ですが、もちろん、家族のこととも大切です。松江には妻と高校生の娘、中学生の息子がいます。転勤当初はコロナ禍真っ只中で、帰省に際しては県外からの移動ということで抗原検査をしてから家に入るという状況で、娘の高校入学式に参列するのも一苦労でした。いろいろな面で妻や子供たちには負担をかけていますが、現在は、用事があってもなくても頻繁に往来できています。帰省した時に「電球が切れかかっているから交換してほしい」なんて言われると交換しながら頼りにされているとこっそり喜んでいます。単身赴任を理解し、家を守ってくれる妻や子供たちに感謝です。

最後になりますが、福山医療センターリハビリテーション科は24名の療法士と2名の助手の計26名からなり、地域の皆様に喜んでいただけるリハビリを提供すべく日々頑張っております。今後とも福山医療センターをどうぞよろしくお願ひ致します。

リハビリテーション科士長 平野 哲生



基本理念

わたしたちは、国立病院機構の一員として、医の倫理を守り、患者さまの権利と意思を尊重し、患者さまの健康と医療の質の向上のため、たゆまぬ努力を行い、安全でしかも患者さまにとって最善の質の高い医療をめざします。

基本方針

1. 患者さまに寄り添い、患者さまを中心とした医療を提供します。
2. チーム医療の実践により効率的で安全な質の高い医療を提供します。
3. 地域医療機関と密に連携し、患者情報の共有による一貫した医療提供体制を構築します。
4. 政策医療の「がん」「成育医療」「骨・運動器」を中心として、地域に最良な医療の提供に貢献します。
5. 健全な経営に努めるとともに、常に明るく活力のある職場作りを心掛けています。
6. 臨床研究を精力的に行い、医学の進歩に貢献するとともに、日々研鑽して臨床教育・研修の充実に努めます。

外来診療予定表

令和5年11月1日現在

【受付時間】 平日 8:30～11:00

※眼科は休診中です。

【電話番号】 084-922-0001(代表)

(地域医療連携室) T E L 084-922-9951(直通)

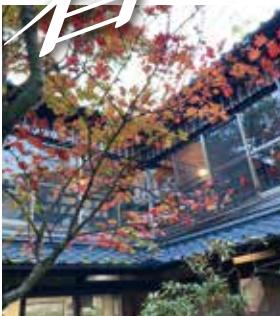
F A X 084-922-2411(直通)

診療科名		月	火	水	木	金	備 考
小児医療センター	小児科	午前	坂本 朋子 大平 純也	荒木 徹 坂本 朋子	北浦 菜月	坂本 朋子	北浦 菜月 木村 崇 小田 慎※1
		午前	荒木 徹 藤原 優昌 北田 邦美	山下 定儀 藤原 優昌 北田 邦美	荒木 徹 山下 定儀 藤原 優昌	荒木 徹 北田 邦美 山下 定儀 近藤 宏樹※2	北田 邦美 坂本 朋子 富井 聰一※3
		午後	荒木 徹 大平 純也 木村 崇	藤原 優昌 木村 崇	荒木 徹	荒木 徹 山下 定儀 近藤 宏樹※2 細木 瑞穂	山下 定儀 藤原 優昌 富井 聰一※3 北浦 菜月 木村 崇
	摂食外来				綾野 理加	綾野 理加	水(1週)・木(4週)…9:30～16:00
	乳児健診			13:00～15:00	13:00～15:00	13:00～15:00	予約制
	予防接種・シナジス		シナジス	予防接種			シナジス外来冬期のみ 13:30～14:30 予防接種 13:30～14:30
	小児外科・ 小児泌尿器科			窪田 昭男※4 (13:30～16:00)	井深 奏司※5 阪 龍太※5 塚田 遼	井深 奏司 岩崎 駿 吉田 篤史※3 (13:30～16:00)	※4 毎月1・3・5… 小児便秘専門外来併診 診察は小児科で行います ※5 交替制
	新生児科	午前	猪谷 元浩			岩瀬 瑞恵	
		午後	猪谷 元浩	岩瀬 瑞恵			
産婦人科	産婦人科外来		今福 紀章 藤田 志保	山本 暖 中藤 光里	山本 暖 上木 一朗	今福 紀章 藤田 志保	火…午前のみ 木曜日(10:00～12:00)…母乳外来(予約制) 産婦人科外来で行います
泌尿器科	泌尿器科外来	午前	藤田 曜	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曜 河野 晋太郎	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曜 河野 晋太郎	河野 晋太郎	長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曜 河野 晋太郎
		午後		長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曜 河野 晋太郎			長谷川 泰久 増本 弘史 藤田 曜 河野 晋太郎
				ストーマ外来			水…ストーマ外来 14:00～
総合内科	総合内科外来	初診	梶川 隆・廣田 稔	豊川 達也	藤田 敦生	堀井 城一朗	齋藤 誠司
			原 友太	福井 洋介 住井 遼平 奥延 太希	齊藤 誠司 何本 佑太 佐藤 大直	石川 順一 東 莉央	坂田 雅浩 岡本 晃一

ご予約がなくても受診は可能です(完全予約制を除く)。ただし、ご予約をいただいた方が優先となりますので、長い時間お待ちいただくこともあります。
あらかじめご了承ください。

診療科名		月	火	水	木	金	備考	
消化管内科	消化管内科外来		藤田 純生 村上 敬子 伏見 崇	豊川 達也 野間 康宏	堀井 城一朗	村上 敬子	豊川 達也 上田 祐也	月…村上医師は紹介患者を午前中のみ
肝臓内科	肝臓内科外来				金吉 俊彦		金吉 俊彦 坂田 雅浩	
血液内科	血液内科外来		淺田 謙					月…1・3・5週のみ
内分泌内科	内分泌内科外来		寺坂 友博					
糖尿病内科	糖尿病内科外来			上田 祐也			大井 祐貴子	大井医師…金(午前のみ)
肝・胆・脾外科	肝・胆・脾外科外来	午前			稻垣 優 北田 浩二	稻垣 優 徳永 尚之		
		午後				内海 方嗣		
消化管外科	消化管外科外来	午前	宮宗 秀明	大塚 真哉 濱野 亮輔 櫻井 潤哉	大塚 真哉	常光 洋輔 宮宗 秀明	常光 洋輔 柚木 宏介 岡林 弘樹	
		午後	宮宗 秀明	濱野 亮輔		宮宗 秀明		
ストーマ外来	ストーマ外来	午後	宮宗 秀明					
乳腺・内分泌外科	乳腺・内分泌外科 外来	午前		三好 和也	高橋 寛敏		三好 和也	
		午後	高橋 寛敏	三好 和也 松坂 里佳	高橋 寛敏			月曜日(午後)は予約患者のみ
内視鏡センター	消化管		堀井 城一朗 豊川 達也 野間 康宏 住井 遼平 何本 佑太 岡本 晃一 大江 啓史	藤田 純生 堀井 城一朗 野間 康宏 住井 遼平 何本 佑太 藤井 佑樹 内田 大輔	豊川 達也 村上 敬子 上田 祐也 坂田 雅浩 原友太 表 静馬 石川 順一 何本 佑太 藤井 佑樹 内田 大輔	藤田 純生 豊川 達也 片岡 淳朗 坂田 雅浩 野間 康宏 伏見 崇 原友太 住井 遼平 石川 順一 渡邊 純代 岡本 晃一	堀井 城一朗 村上 敬子 藤田 純生 前原 弘江 伏見 崇 野間 康宏 原友太 住井 遼平 石川 順一 何本 佑太 佐藤 大直	
	気管支鏡			岡田 俊明 谷口 曜彦 市原 英基 妹尾 賢			岡田 俊明 谷口 曜彦 妹尾 賢	
呼吸器内科	呼吸器内科外来		岡田 俊明 谷口 曜彦	市原 英基	谷口 曜彦 妹尾 賢	岡田 俊明 妹尾 賢	妹尾 賢	月・水・木…肺がん検診、月・木…結核検診 火…市原医師は午後のみ 金…妹尾医師は午後のみ
呼吸器外科	呼吸器外科外来	午前	高橋 健司			二萬 英斗		
		午後	二萬 英斗					
循環器内科	循環器内科外来			梶川 隆		梶川 隆	廣田 稔	水…心臓カテーテル検査(午後のみ)
血管外科	血管外科外来						山根 尚貴	第2・4金曜日 13:30—15:30
心臓リハビリテーションセンター	心臓 リハビリテーション センター		廣田 稔 上田 亜樹			廣田 稔 上田 亜樹		
脊椎・人工関節センター	整形外科		宮澤 憲一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 渡邊 典行 中居 祐大 山下 涼介	宮本 正 日野 知仁 辻 秀憲	宮澤 憲一 宮本 正 日野 知仁 松下 具敬	甲斐 信生 宮澤 憲一 渡邊 典行 中居 祐大	初診は紹介状持参の方のみ 水…受付は10:30まで 辻医師…第2・4週の予約患者のみ(総経絡療の場合は次回より他医師が診察) 木・金…宮澤医師(午前のみ) 月・水…宮本医師(月・午後のみ)/(水・午前のみ) 月・水・木…日野医師(午前のみ) 木…松下医師(午前のみ) 火・金…中居医師(火・午後のみ)/(金・午前のみ) 火・金…山下医師(午前のみ)
				リウマチ・関節外来				リウマチ・関節外来…松下医師
頭頸部腫瘍センター	耳鼻咽喉・頭頸部外科	午前	中谷 宏章 竹内 薫			中谷 宏章 福島 廉	福島 廉 竹内 薫	午後は予約のみ
		午後	福島 廉			中谷 宏章 福島 廉		補聴器外来…第2・4金曜日午後のみ
	形成外科	午前	三河内 明 井上 温子		三河内 明 井上 温子		井上 温子	
皮膚科	皮膚科外来	午前	下江 敬生	下江 敬生	下江 敬生	下江 敬生		
精神科	精神科外来		水野 創一	水野 創一	水野 創一	水野 創一		月木…初診のみ(地連予約必) 火水金…再診のみ
エイズ連携センター	総合内科・感染症科		齊藤 誠司		齊藤 誠司	齊藤 誠司		月…齊藤医師は午後のみ(予約のみ)
画像センター	放射線診断科		道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉 吉村 孝一	道家 哲哉	左記、地連予約枠
	放射線治療科		中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	中川 富夫 兼安 祐子	火・金…ラルス治療(午後)
	IVR		金吉 俊彦 坂田 雅浩 石川 順一 佐藤 大直		梶川 隆 廣田 稔 福井 洋介 奥延 太希	金吉 俊彦 坂田 雅浩 伏見 崇 何本 佑太 岡本 晃一		月…午前のみ 木…午後のみ
口腔相談支援センター	口腔相談		藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	藤原 千尋 黒川 真衣	平日 8:30—16:30(予約不要)
看護外来	リンパ浮腫外来		村上 美佐子 大原 聰子		村上 美佐子 大原 聰子			予約のみ 月…初回の方のみ 木…2回目以降の方のみ
	がん看護外来				がん専門看護師			予約のみ がん専門看護師又はがん分野の認定看護師対応
その他	健康診断		健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	健康診断	平日 8:30—10:00 受付 ※事前に予約連絡をお願いします(内科 予約不可 産婦人科・外科11:00まで) 市検診の肺がん検診は月・水・木
	禁煙外来				長谷川 利路 (代診の場合あり)			*診察は耳喉嚨・頭頸部外科で行います。 水…13:30-16:30 初診は月1回指定日になります。

[休診日]土曜・日曜・祝日、年末年始(12/29-1/3) ※眼科は休診中です。



CONTENTS

第77回国立病院総合医学会	1~6
「治験」にご協力お願いします	16
歯科衛生士 病院見学会	20
一枚の絵 No.132 ひまわりサロンミニレクチャー 音楽カフェ お知らせ 研修会・オープンカンファレンス	24
編集後記	24
外来診療予定表 (2023年11月)	25・26

連載

"中国ビジネス情報" 転載 外科医のひとりごと Vol.48	7
山陰鳥取便り No.40	8
No.102 在宅医療の現場から	9
No.7 リハビリテーション科	10
映画への誘い No.36(最終回)	11・12
連載121 世界の病院から	
台湾の病院見聞記(シーズン2-38)	13・14
医療連携支援センター 通信 No.54	15
マサカツくんのツーリング紀行 No.55	17・18
Design No.82	19
No.114 事務部だより 「芸術の秋」	19
SAKE Freak No.29	20
栄養管理室 No.178 「小松菜ピーナッツマヨ和え」	21
萬葉の花と歌(59)	22
音楽カフェの風景 ~その71~	23

■撮影者からのコメント

「梅鉢草(ウメバチソウ)」と阿蘇の大観峰で出会うことが出来ました。最初、小さな花なので気づかず通り過ぎてしましましたが、年配の女性が頭を突き合わせ何やら撮っているのを見聞き込み、その存在を知りました。高さは15~20センチくらいで、花茎には2センチ程の花と葉がそれぞれ一つ。午後の優しい日差しに白い花弁が輝いています。

バイクに乗り始めてから何度も阿蘇に遊びに来ているのに!何故か大観峰は初めて。阿蘇外輪山を360度望める展望台ではスキがお日様に照らされキラキラ最高の眺望です。たまたま出会える景色や花の美しさに感動、そこに行かなければ出会えませんね!さて、次はどこに行きましょう。

2 A 病棟看護師 中島 和枝

読者の皆さまのご意見・ご要望をもとに、より充実した内容の広報誌を目指しています。

ご意見・ご要望は FAX:084-931-3969 又は E-mail:507-HP@mail.hosp.go.jp までお寄せください。



独立行政法人 国立病院機構
福山医療センター
National Hospital Organization FUKUYAMA MEDICAL CENTER

福山医療センターだより FMC NEWS 2023.11月号/通巻187号 発行者:福山医療センター広報誌 編集委員会 発行責任者:稻垣 優

〒720-8520 広島県福山市沖野上町4丁目14-17
TEL(084)922-0001(代) FAX(084)931-3969
<https://fukuyama.hosp.go.jp/>